

令和3年県民意識調査結果報告書
宮城県震災復興計画
新・宮城の将来ビジョン
【概要版】

令和4年3月
宮 城 県

目次

I 調査の概要	1
1 調査の趣旨	1
2 調査の実施状況	1
3 調査結果の見方	2
II 調査結果	3
1 宮城県の復旧・復興の進捗状況について	3
2 宮城県震災復興計画について	5
(1) 分野1 環境・生活・衛生・廃棄物	5
(2) 分野2 保健・医療・福祉	7
(3) 分野3 経済・商工・観光・雇用	9
(4) 分野4 農業・林業・水産業	11
(5) 分野5 公共土木施設	13
(6) 分野6 教育	15
(7) 分野7 防災・安全・安心	17
3 新・宮城の将来ビジョンについて	19
(1) つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	19
(2) つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	21
(3) つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる	23
(4) つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる	25
(5) つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる	27
(6) つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	29
(7) つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	31
(8) つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	33
III 参考資料	36
1 回答者属性一覧	36
2 宮城県震災復興計画（各取組の「高重視群」、「満足群」、「不満群」の概要）	37
3 新・宮城の将来ビジョン（各取組の「高重視群」、「満足群」、「不満群」の概要）	40

I 調査の概要

1 調査の趣旨

この調査は、行政活動の評価に関する条例（平成 13 年宮城県条例第 70 号）第 7 条の規定により実施するもので、「宮城県震災復興計画」に基づく 7 分野 23 の取組及び「新・宮城の将来ビジョン」に基づく 8 つの「つくる」（18 の取組）について、県民がどの程度重視しているか、満足しているか、また今後どのようなことを優先的に取り組むべきと考えているかなどを調査しています。その結果は公表するとともに、県の政策評価・施策評価や施策・事業等の企画立案などに活用します。

2 調査の実施状況

①調査対象

宮城県に居住する 18 歳以上の方 4,000 人（選挙人名簿等から無作為抽出）

②調査方法

郵送配付、郵送及びインターネット回答

③調査期間

令和 3 年 11 月 25 日（木）から令和 3 年 12 月 20 日（月）まで

④調査項目

- 「宮城県の復旧・復興の進捗状況」に関する調査
 - 「宮城県震災復興計画」に基づく 7 分野 23 の取組の重視度、満足度に関する項目
 - 「新・宮城の将来ビジョン」に基づく 8 つの「つくる」（18 の取組）の重視度・満足度・今後優先すべきと思うテーマに関する項目
 - 回答者属性及び調査方法等に関する項目
- このほか、テーマ別項目の調査を実施

⑤回収結果

回収数 1,862 通 有効回収数 1,859 通（うち郵送回答数 1,615 件、インターネット回答数 244 件）
回収率 46.6% 有効回収率 46.5%（うち郵送回収率 86.9%、インターネット回収率 13.1%）

3 調査結果の見方

○比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

このため、百分率の計が100%にならないことがあります。

○本調査は無作為抽出調査であるため、調査結果を見る際には、母集団から標本（調査対象）を抽出することによって生じる「標本誤差（母集団全体を調査した場合に得られる真の値との差）」を考慮する必要があります。

今回の調査結果の標本誤差は、約±2%と見ることができます。

（例：今回の調査結果において、設問中の選択肢の「重要」の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は約±2%以内（真の値が58%～62%以内にある）と見ることができます。）

○この調査で用いている用語の意義は、次のとおりです。

- ・「高実感群割合」とは、復旧・復興の進捗状況の実感に関する設問で、「進んでいると感じる」、「やや進んでいると感じる」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「低実感群割合」とは、復旧・復興の進捗状況の実感に関する設問で、「やや遅れていると感じる」、「遅れていると感じる」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「高重視群割合」とは、重視度に関する設問で、「重要」、「やや重要」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「低重視群割合」とは、重視度に関する設問で、「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「満足群割合」とは、満足度に関する設問で、「満足」、「やや満足」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「不満群割合」とは、満足度に関する設問で、「やや不満」、「不満」と回答した割合を合わせたものです。

- ・「沿岸部」とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、女川町、南三陸町の15市町です。
- ・「内陸部」とは、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、富谷市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、大和町、大郷町、大衡村、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の20市町村です。

- ・「仙南圏域」とは、白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町の9市町です。
- ・「仙台圏域」とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村の14市町村です。
- ・「大崎圏域」とは、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の5市町です。
- ・「栗原圏域」とは、栗原市の1市です。
- ・「登米圏域」とは、登米市の1市です。
- ・「石巻圏域」とは、石巻市、東松島市、女川町の3市町です。
- ・「気仙沼・本吉圏域」とは、気仙沼市、南三陸町の2市町です。

II 調査結果

1 宮城県の復旧・復興の進捗状況について

宮城県の復旧・復興の進捗状況について調査したところ、次のような結果となりました。

調査結果の概要

【全般的な進捗状況】

○県全体で、全般的な復旧・復興について、「進んでいる」又は「やや進んでいる」と回答している「高実感群割合」は、69.7%、「やや遅れている」又は「遅れている」と回答している「低実感群割合」は、17.6%となっています。

○県全体の前回調査との差異を見てみると、高実感群は3.9ポイント増加（65.8%→69.7%）し、低実感群は3.1ポイント減少（20.7%→17.6%）しています。

図 1 復旧・復興の進捗状況の実感に関する割合（県全体）

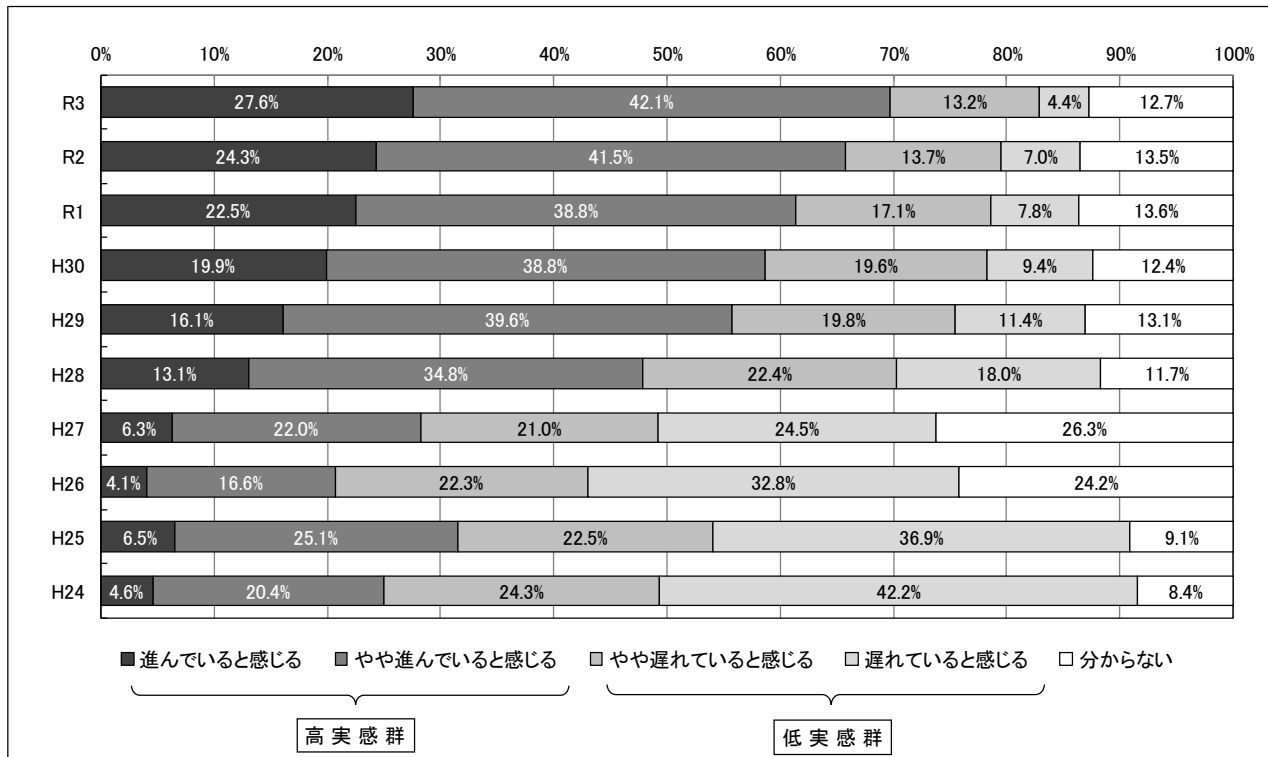


表 1 高実感群割合（回答者属性別）

県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
	男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
今回	69.7%	68.9%	71.9%	66.6%	72.3%	68.4%	62.7%	77.0%	69.8%	65.3%	74.0%	72.8%	69.0%
前回	65.8%	64.9%	67.8%	62.8%	66.5%	65.3%	69.2%	72.5%	66.0%	61.7%	64.3%	66.5%	61.4%

図 2 復旧・復興の進捗状況の実感の推移 (県全体・地域別)

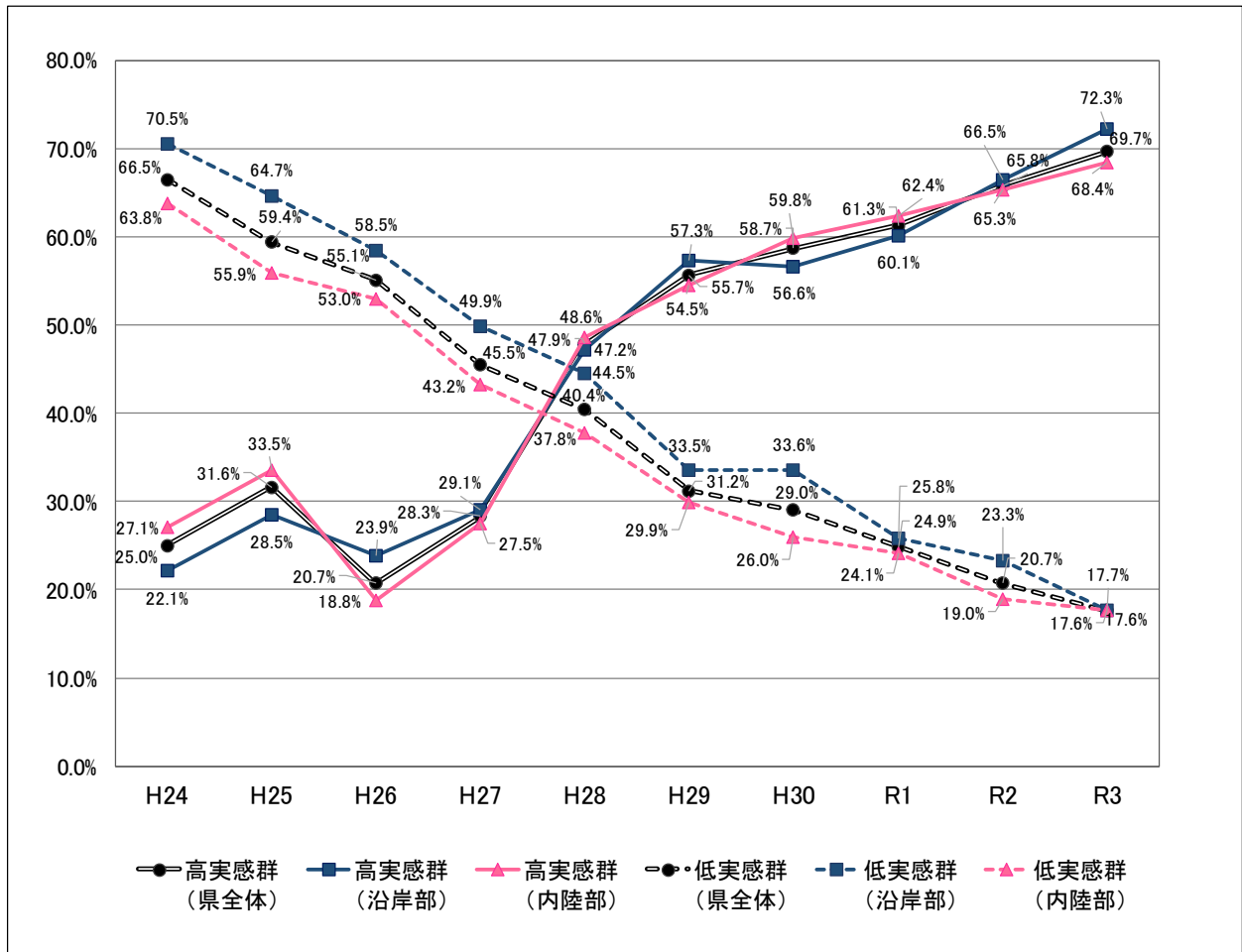


表 2 高実感群及び低実感群割合 (県全体・地域別)

調査年	高実感群			低実感群		
	県全体	沿岸部	内陸部	県全体	沿岸部	内陸部
R3	69.7%	72.3%	68.4%	17.6%	17.7%	17.6%
R2	65.8%	66.5%	65.3%	20.7%	23.3%	19.0%
R1	61.3%	60.1%	62.4%	24.9%	25.8%	24.1%
H30	58.7%	56.6%	59.8%	29.0%	33.6%	26.0%
H29	55.7%	57.3%	54.5%	31.2%	33.5%	29.9%
H28	47.9%	47.2%	48.6%	40.4%	44.5%	37.8%
H27	28.3%	29.1%	27.5%	45.5%	49.9%	43.2%
H26	20.7%	23.9%	18.8%	55.1%	58.5%	53.0%
H25	31.6%	28.5%	33.5%	59.4%	64.7%	55.9%
H24	25.0%	22.1%	27.1%	66.5%	70.5%	63.8%

2 宮城県震災復興計画について

「宮城県震災復興計画」に基づく取組について、7つの分野ごとに「重視度」、「満足度」を調査したところ、次のような結果となりました。

(1) 分野1 環境・生活・衛生・廃棄物

取組1 被災者の生活環境の確保

取組3 持続可能な社会と環境保全の実現

※「2 廃棄物の適正処理」は、災害廃棄物の処理が完了しており、調査を行っていません。

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「高重視群割合」がより高かったのは、「取組1 (79.2%)」で、次いで「取組3 (77.7%)」の順となっています。

○「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が14.0ポイント(65.2%→79.2%)増加、「取組3」が6.0ポイント(71.7%→77.7%)増加しています。

【満足度】

○県全体で、「満足群割合」がより高かったのは、「取組1 (56.0%)」で、次いで「取組3 (47.4%)」の順となっています。

○「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が12.2ポイント(43.8%→56.0%)増加、「取組3」が4.4ポイント(43.0%→47.4%)増加しています。

○県全体で、「不満群割合」がより高かったのは、「取組3 (28.4%)」で、次いで「取組1 (16.4%)」の順となっています。

○「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が0.3ポイント(16.7%→16.4%)減少、「取組3」が8.0ポイント(20.4%→28.4%)増加しています。

図3 重視度割合 (県全体)

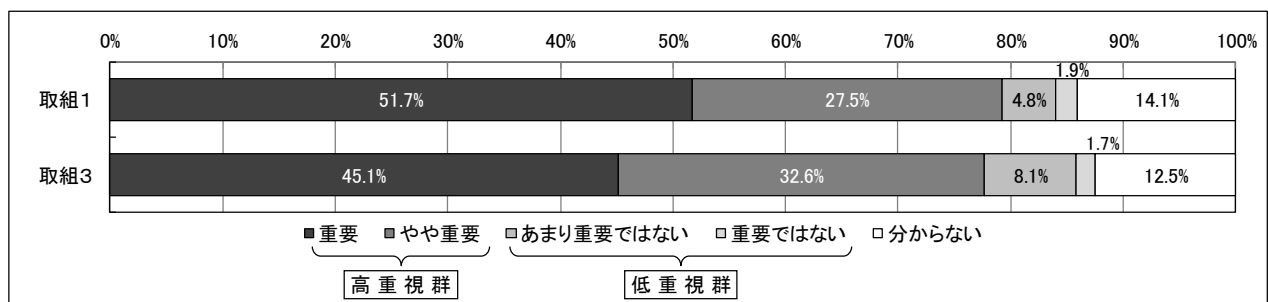


表3 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	79.2% (65.2%)	81.3%	77.8%	81.3%	76.7%	80.0%	79.5%	76.2%	83.9%	79.4%	77.7%	83.1%	78.8%	79.7%
取組3	77.7% (71.7%)	77.4%	78.0%	78.6%	76.5%	78.2%	77.7%	75.2%	81.4%	78.9%	80.1%	75.6%	75.0%	79.2%

図 4 満足度割合 (県全体)

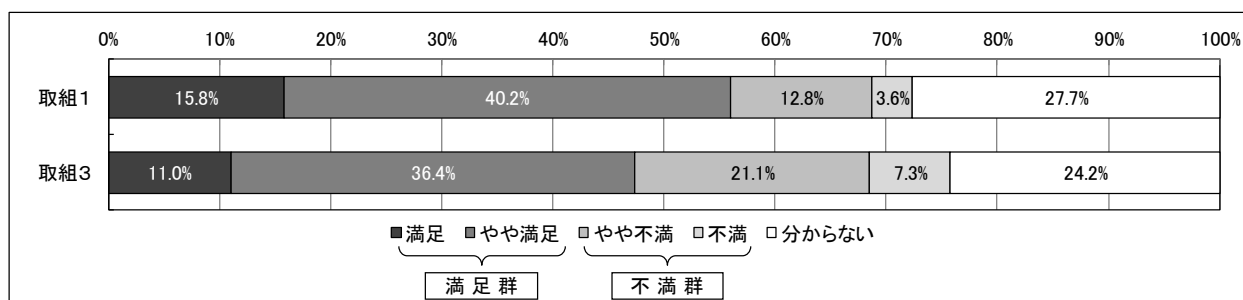


表 4 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	56.0% (43.8%)	58.0%	54.5%	56.1%	56.1%	58.5%	55.1%	50.5%	58.9%	52.8%	54.9%	60.1%	60.1%	59.2%
取組3	47.4% (43.0%)	45.4%	49.0%	45.1%	50.6%	50.3%	46.1%	45.6%	50.0%	48.6%	44.1%	44.4%	50.2%	51.8%

表 5 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	16.4% (16.7%)	19.6%	13.7%	16.6%	15.9%	17.4%	15.6%	15.4%	13.7%	19.9%	15.2%	12.5%	18.8%	18.4%
取組3	28.4% (20.4%)	36.2%	22.1%	32.1%	23.2%	25.8%	30.0%	26.3%	28.4%	33.4%	32.4%	28.3%	23.4%	25.5%

(2) 分野2 保健・医療・福祉

取組1 安心できる地域医療の確保

取組2 未来を担う子どもたちへの支援

取組3 だれもが住みよい地域社会の構築

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組2 (89.4%)」で、次いで「取組1 (89.0%)」、「取組3 (86.7%)」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が11.3ポイント(77.7%→89.0%)増加、「取組2」が9.1ポイント(80.3%→89.4%)増加、「取組3」が11.7ポイント(75.0%→86.7%)増加しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2 (61.5%)」で、次いで「取組1 (57.0%)」、「取組3 (56.3%)」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が12.1ポイント(49.4%→61.5%)増加するなど、全ての取組で増加しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組1 (24.5%)」で、次いで「取組3 (20.9%)」、「取組2 (18.4%)」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が5.6ポイント(18.9%→24.5%)増加するなど、全ての取組で増加しています。

図5 重視度割合 (県全体)

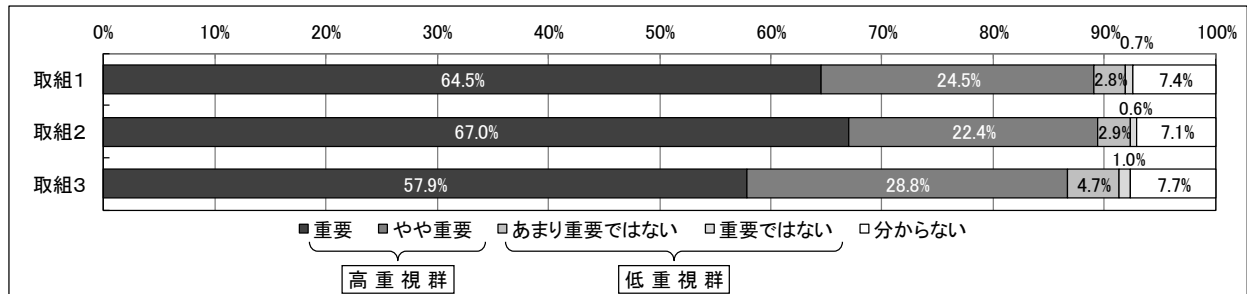


表6 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	89.0% (77.7%)	88.8%	89.3%	90.1%	87.7%	89.6%	89.1%	85.8%	89.8%	87.9%	90.9%	91.5%	90.4%	89.6%
取組2	89.4% (80.3%)	88.8%	90.0%	90.6%	88.1%	90.6%	88.9%	84.3%	90.2%	89.7%	91.7%	89.9%	91.7%	90.1%
取組3	86.7% (75.0%)	85.3%	88.0%	86.0%	87.6%	85.7%	87.4%	84.0%	87.1%	86.2%	90.1%	89.3%	85.7%	84.7%

図 6 満足度割合 (県全体)

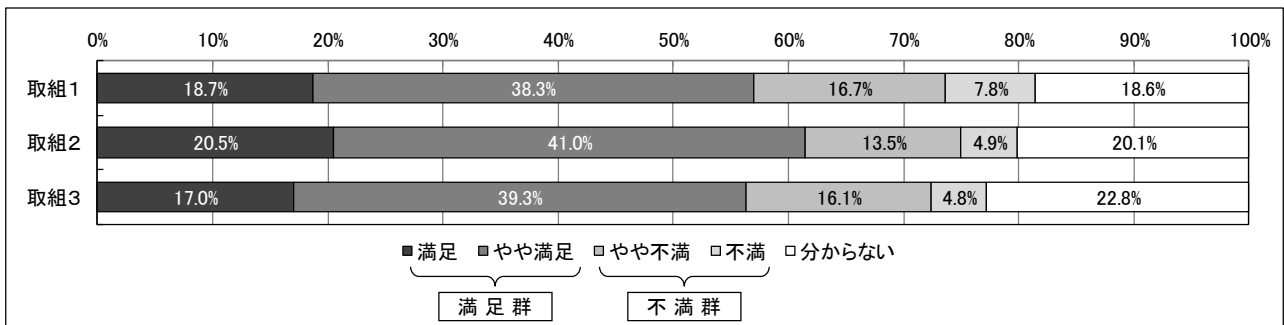


表 7 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	57.0% (45.9%)	57.2%	56.9%	55.9%	58.7%	58.6%	56.3%	51.5%	57.8%	62.2%	55.8%	54.0%	63.7%	56.4%
取組2	61.5% (49.4%)	59.2%	63.4%	59.8%	64.2%	62.8%	61.1%	58.4%	59.5%	63.4%	58.3%	62.9%	65.6%	64.7%
取組3	56.3% (45.6%)	54.8%	57.8%	53.7%	60.1%	56.6%	56.4%	50.2%	54.2%	58.7%	56.4%	58.8%	58.6%	59.3%

表 8 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	24.5% (18.9%)	26.2%	23.0%	24.8%	23.8%	24.5%	24.3%	24.8%	19.5%	20.9%	25.9%	27.7%	21.9%	29.7%
取組2	18.4% (15.9%)	21.0%	16.3%	19.5%	16.6%	17.1%	19.1%	18.9%	15.6%	19.2%	23.1%	15.9%	18.7%	16.1%
取組3	20.9% (16.5%)	24.7%	17.5%	21.5%	19.7%	20.6%	20.7%	20.4%	17.7%	23.1%	22.3%	18.4%	23.2%	19.4%

(3) 分野3 経済・商工・観光・雇用

取組1 ものづくり産業の復興

取組2 商業・観光の再生

取組3 雇用の維持・確保

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組3 (83.3%)」で、次いで「取組1 (80.2%)」、「取組2 (76.8%)」の順となっています。

○「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が15.9ポイント(64.3%→80.2%)増加するなど、全ての取組で増加しています。

【満足度】

○県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2 (49.8%)」で、次いで「取組1 (46.2%)」、「取組3 (44.9%)」の順となっています。

○「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が11.9ポイント(34.3%→46.2%)増加するなど、すべての取組で増加しています。

○県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組3 (29.3%)」で、次いで「取組2 (26.5%)」と「取組1 (24.1%)」の順となっています。

○「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が9.5ポイント(19.8%→29.3%)増加するなど、全ての取組で増加しています。

図7 重視度割合 (県全体)

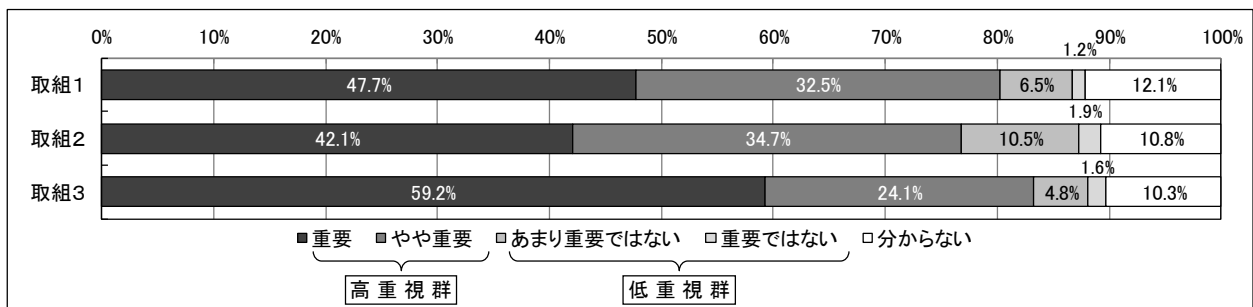


表9 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	80.2% (64.3%)	81.9%	78.9%	81.8%	78.1%	79.6%	80.9%	74.8%	83.2%	82.2%	82.7%	83.3%	79.0%	77.8%
取組2	76.8% (62.0%)	76.5%	77.4%	79.8%	73.1%	78.1%	76.8%	73.2%	79.6%	80.3%	77.3%	76.5%	76.8%	77.6%
取組3	83.3% (68.0%)	84.6%	82.4%	85.6%	80.4%	83.8%	83.7%	79.6%	85.2%	84.9%	87.9%	82.2%	82.2%	84.0%

図 8 満足度割合 (県全体)

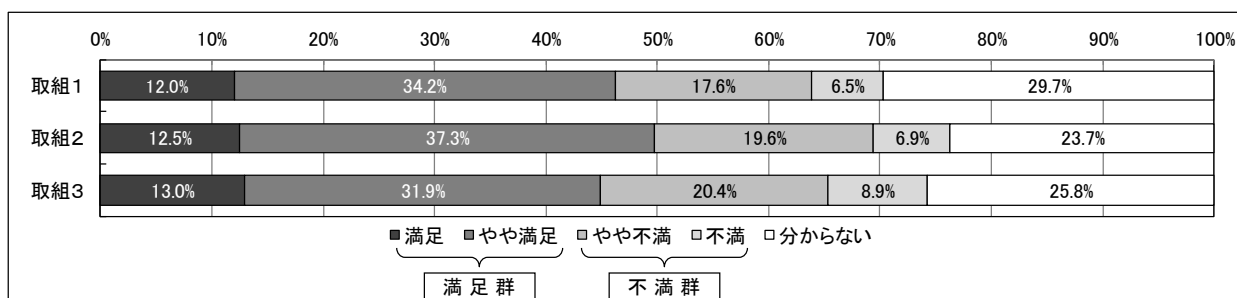


表 10 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	46.2% (34.3%)	46.0%	46.6%	45.9%	46.9%	44.3%	47.6%	44.1%	44.0%	53.3%	42.7%	47.6%	44.0%	47.8%
取組2	49.8% (38.6%)	48.3%	50.9%	50.5%	48.4%	49.2%	50.2%	51.3%	48.2%	54.1%	44.0%	50.4%	50.0%	50.6%
取組3	44.9% (34.8%)	44.8%	45.1%	42.4%	48.6%	44.7%	45.2%	42.4%	41.1%	49.1%	43.6%	43.3%	43.0%	52.4%

表 11 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	24.1% (18.6%)	30.7%	18.7%	25.2%	22.6%	24.6%	23.8%	20.8%	22.2%	23.6%	31.6%	20.7%	29.6%	20.6%
取組2	26.5% (18.6%)	31.4%	22.6%	27.4%	25.6%	27.4%	26.1%	22.5%	28.6%	26.7%	33.3%	22.1%	27.5%	25.6%
取組3	29.3% (19.8%)	35.3%	24.1%	32.4%	24.6%	28.1%	30.0%	30.3%	30.4%	29.2%	34.0%	27.3%	31.0%	21.8%

(4) 分野4 農業・林業・水産業

- 取組1 魅力のある農業・農村の再興
- 取組2 活力ある林業の再生
- 取組3 新たな水産業の創造
- 取組4 一次産業を牽引する食産業の振興

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組1 (80.2%)」で、次いで「取組3 (79.2%)」、「取組4 (77.2%)」、「取組2 (73.8%)」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が18.3ポイント(61.9%→80.2%)増加するなど、全ての取組で増加しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組3 (49.9%)」で、次いで「取組4 (49.2%)」、「取組2 (48.6%)」、「取組1 (48.2%)」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が15.2ポイント(33.0%→48.2%)増加するなど、全ての取組で増加しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組1 (24.2%)」で、次いで「取組4 (21.6%)」、「取組3 (19.4%)」と「取組2 (18.7%)」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組4」が6.8ポイント(14.8%→21.6%)増加するなど、全ての取組で増加しています。

図9 重視度割合 (県全体)

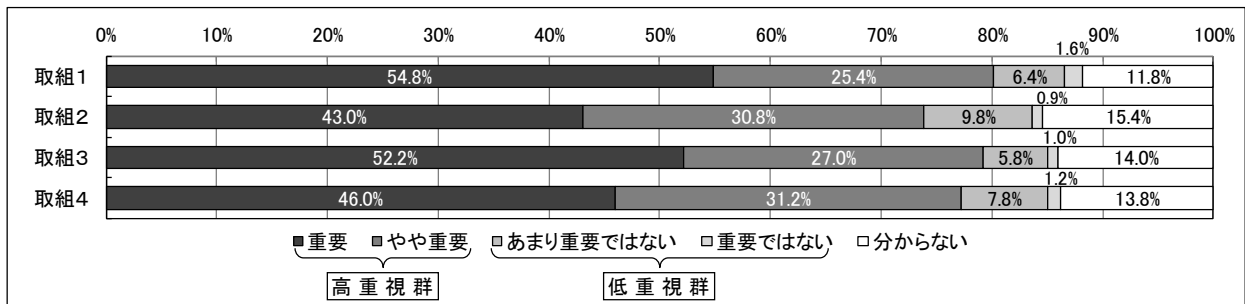


表12 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)		性別		年代別		地域別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	80.2%	(61.9%)	81.3%	79.5%	81.6%	78.7%	80.3%	81.1%	78.9%	85.4%	77.9%	84.0%	82.3%	77.7%	79.8%
取組2	73.8%	(55.7%)	73.2%	74.8%	74.2%	73.6%	75.3%	73.4%	71.0%	79.5%	73.7%	73.7%	73.6%	72.2%	75.6%
取組3	79.2%	(63.4%)	79.2%	79.3%	80.4%	77.8%	83.3%	77.5%	78.2%	84.3%	76.3%	75.9%	78.9%	81.6%	84.7%
取組4	77.2%	(62.3%)	77.4%	77.2%	78.4%	76.0%	77.6%	77.4%	76.7%	79.5%	77.4%	77.6%	77.1%	75.1%	79.0%

図 10 満足度割合 (県全体)

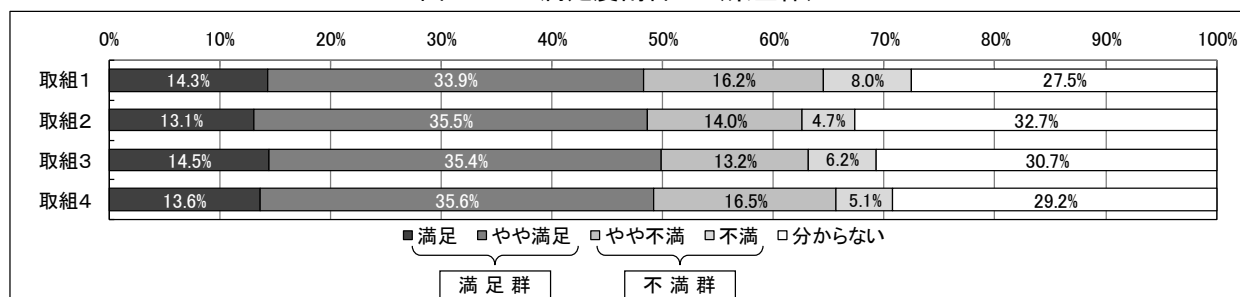


表 13 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	48.2% (33.0%)	49.6%	47.3%	47.6%	49.5%	48.2%	48.8%	48.2%	53.8%	52.0%	46.2%	46.6%	44.9%	48.5%
取組2	48.6% (33.6%)	48.8%	48.7%	47.5%	50.5%	47.7%	49.6%	50.2%	49.8%	53.8%	44.1%	48.6%	46.8%	48.5%
取組3	49.9% (36.4%)	49.8%	50.0%	49.3%	51.0%	52.0%	49.0%	48.7%	51.1%	54.4%	42.5%	49.2%	50.9%	54.9%
取組4	49.2% (36.8%)	49.3%	49.2%	48.3%	50.4%	50.9%	48.4%	50.9%	52.0%	51.3%	42.8%	46.3%	48.6%	53.7%

表 14 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	24.2% (17.7%)	29.8%	19.5%	25.5%	22.1%	20.9%	25.8%	19.7%	17.9%	26.8%	29.6%	29.3%	23.1%	20.5%
取組2	18.7% (13.7%)	24.9%	13.5%	19.5%	17.2%	18.2%	18.6%	17.2%	18.0%	17.6%	24.5%	15.3%	19.9%	17.0%
取組3	19.4% (13.7%)	25.2%	14.5%	19.7%	18.6%	20.4%	18.4%	16.7%	18.8%	16.2%	24.7%	16.8%	21.5%	20.3%
取組4	21.6% (14.8%)	26.1%	17.8%	23.0%	19.6%	19.4%	22.6%	18.8%	20.0%	24.7%	29.0%	19.3%	19.1%	18.0%

(5) 分野5 公共土木施設

- 取組1 道路, 港湾, 空港などの交通基盤の確保・整備促進
- 取組2 海岸, 河川などの県土保全
- 取組3 上下水道などのライフラインの整備
- 取組4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組3 (90.5%)」で、次いで「取組2 (90.1%)」、「取組1 (88.4%)」、「取組4 (85.7%)」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が14.0ポイント(76.5%→90.5%)増加するなど、全ての取組で増加しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組1 (68.7%)」で、次いで「取組3 (62.2%)」、「取組4 (58.5%)」、「取組2 (58.1%)」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が15.7ポイント(46.5%→62.2%)増加するなど、全ての取組で増加しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組2 (26.5%)」で、次いで「取組4 (21.1%)」、「取組3 (19.2%)」、「取組1 (16.9%)」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組4」が3.6ポイント(17.5%→21.1%)増加するなど、全ての取組で増加しています。

図 1 1 重視度割合 (県全体)

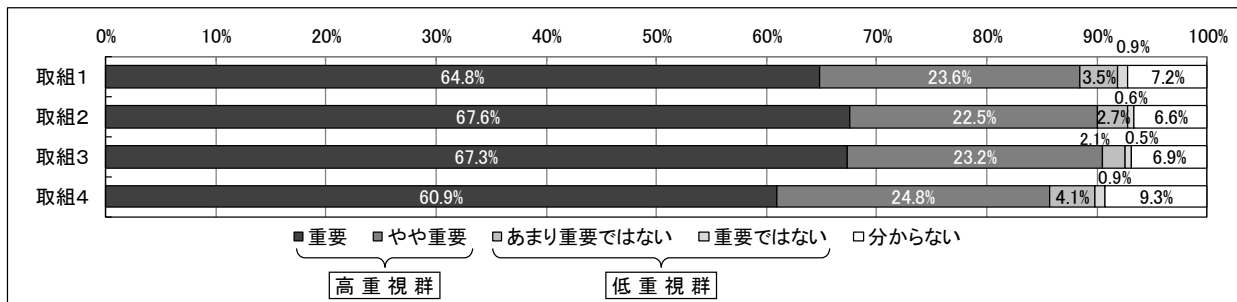


表 1 5 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	88.4% (75.1%)	88.2%	88.7%	89.7%	86.6%	88.8%	88.4%	88.9%	88.5%	85.4%	88.8%	89.9%	88.9%	89.9%
取組2	90.1% (78.6%)	89.4%	90.9%	92.0%	87.8%	90.7%	90.2%	89.7%	90.3%	89.8%	90.8%	89.8%	91.3%	91.3%
取組3	90.5% (76.5%)	89.9%	91.2%	91.3%	89.5%	91.8%	90.1%	90.5%	94.7%	90.4%	88.3%	90.9%	91.8%	89.2%
取組4	85.7% (75.2%)	84.1%	87.1%	86.8%	84.2%	87.8%	84.6%	83.5%	88.0%	85.3%	83.6%	85.3%	90.0%	86.1%

図 12 満足度割合 (県全体)

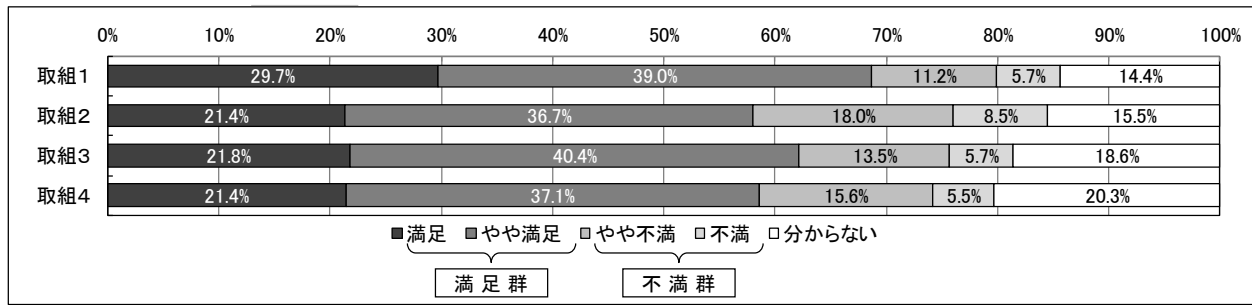


表 16 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	68.7% (54.0%)	67.5%	69.8%	68.4%	69.5%	66.9%	70.0%	69.6%	67.6%	68.7%	70.8%	70.4%	64.3%	69.6%
取組2	58.1% (46.4%)	55.9%	60.0%	58.7%	57.5%	58.5%	57.9%	57.9%	59.1%	56.8%	55.4%	61.0%	56.0%	61.1%
取組3	62.2% (46.5%)	58.1%	65.3%	60.9%	63.9%	63.7%	61.2%	61.3%	64.8%	60.0%	60.1%	61.2%	61.9%	66.4%
取組4	58.5% (47.6%)	57.0%	60.0%	58.7%	58.6%	57.6%	59.5%	56.1%	56.3%	62.1%	56.5%	61.2%	59.7%	59.6%

表 17 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	16.9% (14.3%)	19.7%	14.6%	18.4%	14.7%	19.9%	15.2%	15.2%	16.0%	18.0%	14.4%	14.1%	24.9%	17.6%
取組2	26.5% (23.0%)	31.2%	22.5%	26.5%	26.3%	27.9%	25.8%	25.1%	23.6%	29.7%	27.7%	21.1%	30.4%	28.9%
取組3	19.2% (17.1%)	24.4%	15.1%	20.2%	17.7%	18.1%	20.1%	19.3%	15.2%	24.3%	22.0%	15.5%	22.3%	15.8%
取組4	21.1% (17.5%)	24.7%	18.0%	21.2%	20.9%	24.3%	19.0%	21.7%	21.4%	22.3%	18.3%	14.7%	25.9%	23.5%

(6) 分野6 教育

- 取組1 安全・安心な学校教育の確保
- 取組2 家庭・地域の教育力の再構築
- 取組3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組1（88.8%）」で、次いで「取組2（86.8%）」、「取組3（74.7%）」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が11.8ポイント（75.0%→86.8%）増加するなど、全ての取組で増加しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組1（56.8%）」で、次いで「取組2（54.6%）」、「取組3（54.5%）」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が14.6ポイント（39.9%→54.5%）増加するなど、全ての取組で増加しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組2（22.2%）」で、次いで「取組1（21.5%）」、「取組3（18.4%）」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が5.6ポイント（16.6%→22.2%）増加するなど、全ての取組で増加しています。

図 13 重視度割合（県全体）

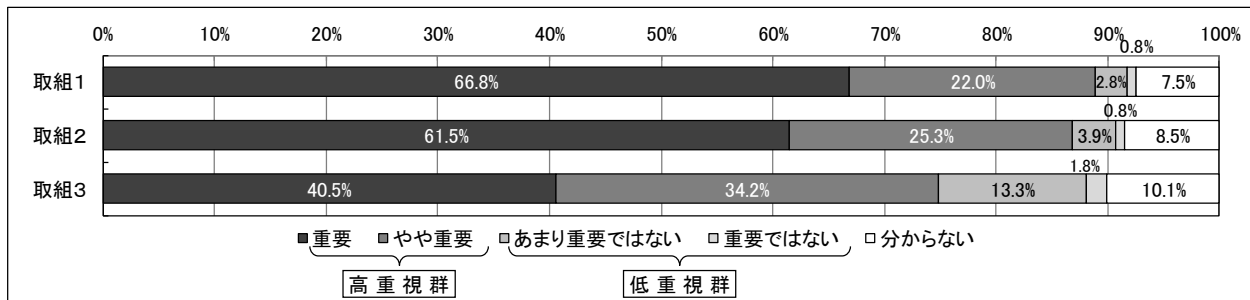


表 18 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	88.8% (78.5%)	88.3%	89.4%	89.7%	87.8%	89.2%	89.1%	86.1%	93.4%	90.2%	90.8%	89.5%	87.6%	86.6%
取組2	86.8% (75.0%)	85.6%	87.9%	86.9%	86.3%	86.0%	87.3%	86.8%	89.4%	87.0%	87.5%	88.3%	83.9%	84.9%
取組3	74.7% (63.0%)	73.2%	76.2%	74.1%	75.8%	74.2%	75.4%	70.3%	73.6%	77.0%	77.3%	76.6%	74.4%	75.4%

図 14 満足度割合 (県全体)

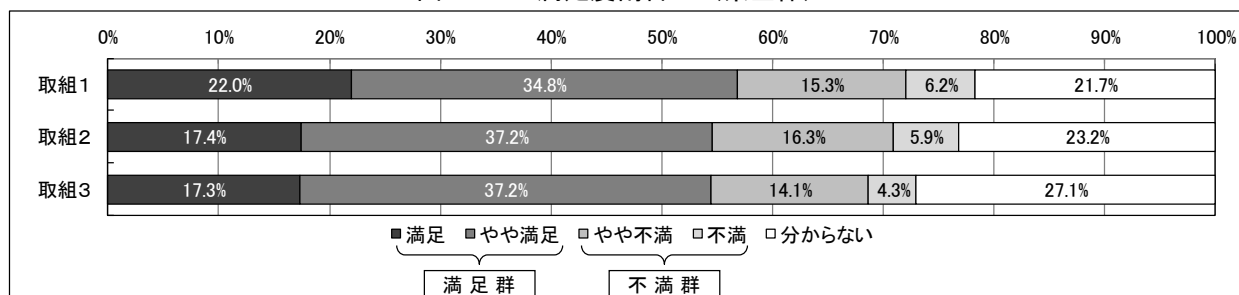


表 19 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	56.8% (45.3%)	53.7%	59.2%	54.0%	60.1%	55.8%	57.7%	55.9%	56.9%	58.6%	55.9%	57.9%	55.5%	58.0%
取組2	54.6% (42.6%)	51.3%	57.3%	52.4%	57.4%	52.6%	56.1%	57.9%	55.5%	57.0%	52.4%	53.5%	52.6%	54.1%
取組3	54.5% (39.9%)	52.4%	56.2%	53.6%	55.6%	53.4%	55.4%	51.3%	53.5%	56.8%	53.1%	58.2%	52.0%	57.4%

表 20 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	21.5% (18.1%)	25.4%	18.5%	24.5%	17.6%	20.3%	22.0%	20.8%	20.9%	26.0%	23.4%	19.5%	22.0%	16.1%
取組2	22.2% (16.6%)	26.7%	18.5%	24.7%	18.8%	20.2%	23.1%	19.0%	21.4%	25.9%	28.5%	21.2%	20.7%	16.0%
取組3	18.4% (15.7%)	22.0%	15.4%	19.4%	16.7%	17.9%	18.5%	19.3%	17.9%	20.4%	21.0%	14.4%	20.3%	14.3%

(7) 分野7 防災・安全・安心

- 取組1 防災機能の再構築
- 取組2 大津波への備え
- 取組3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化
- 取組4 安全・安心な地域社会の構築

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組1」「取組2」（ともに89.0%）で、次いで「取組4（84.3%）」、「取組3（83.7%）」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組4」が15.3ポイント（69.0%→84.3%）増加するなど、全ての取組で増加しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2（64.9%）」で、次いで「取組1（55.8%）」、「取組3（55.6%）」、「取組4（55.1%）」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組4」が15.6ポイント（39.5%→55.1%）増加するなど、全ての取組で増加しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組1（23.7%）」で、次いで「取組4（22.4%）」、「取組3（19.7%）」、「取組2（17.5%）」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組4」が6.1ポイント（16.3%→22.4%）増加するなど、全ての取組で増加しています。

図 15 重視度割合（県全体）

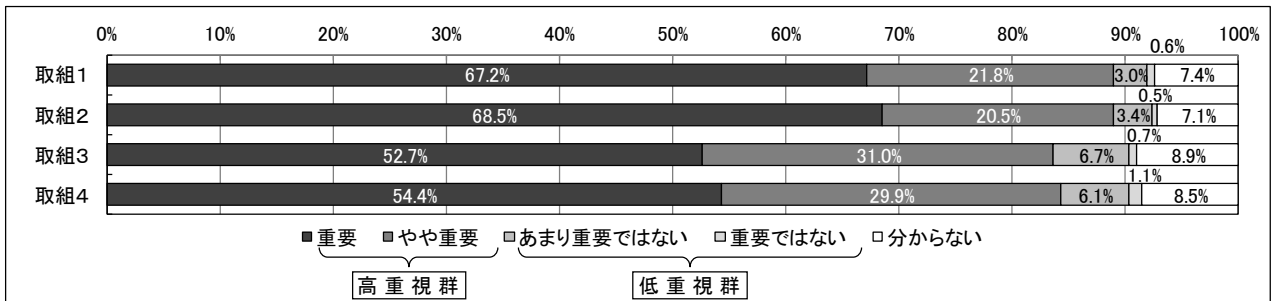


表 21 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体(前回)		性別		年代別		地域別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	89.0%	(79.5%)	89.1%	89.1%	89.7%	88.2%	90.0%	88.7%	87.7%	91.1%	88.4%	89.3%	89.0%	91.8%	88.0%
取組2	89.0%	(81.8%)	88.5%	89.7%	89.9%	88.0%	91.5%	87.8%	86.7%	90.7%	89.4%	88.4%	87.7%	91.8%	90.8%
取組3	83.7%	(70.6%)	82.5%	84.8%	82.7%	85.0%	83.1%	84.5%	80.7%	82.8%	84.2%	88.1%	84.9%	83.1%	83.7%
取組4	84.3%	(69.0%)	82.9%	85.6%	85.5%	82.9%	83.8%	85.1%	83.7%	82.2%	84.6%	86.8%	86.6%	84.5%	83.8%

図 16 満足度割合 (県全体)

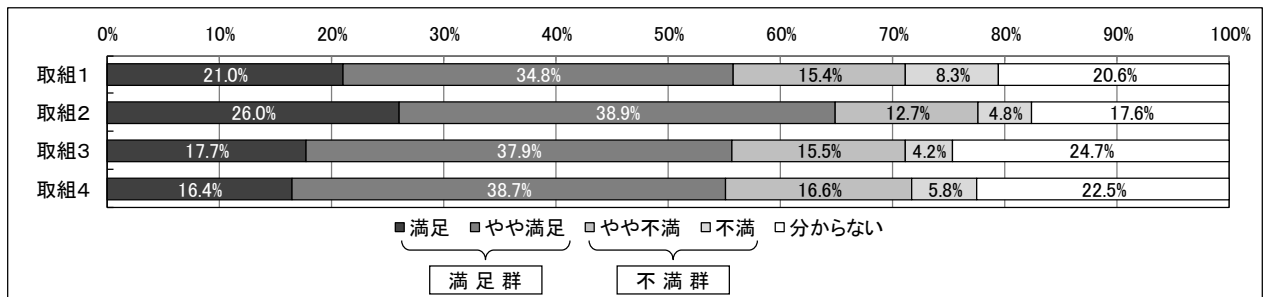


表 22 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	55.8% (45.9%)	54.2%	57.0%	56.3%	54.8%	55.6%	56.3%	56.8%	58.0%	59.0%	53.2%	53.3%	52.8%	58.8%
取組2	64.9% (55.1%)	61.1%	68.3%	64.4%	65.9%	66.9%	64.2%	62.9%	68.6%	65.4%	63.6%	63.1%	60.5%	72.7%
取組3	55.6% (40.2%)	53.2%	57.7%	52.1%	60.6%	54.9%	56.5%	53.2%	54.7%	55.4%	55.4%	60.9%	50.9%	61.2%
取組4	55.1% (39.5%)	53.2%	56.8%	53.4%	57.9%	53.6%	56.6%	52.8%	53.9%	56.9%	56.5%	57.5%	51.5%	58.5%

表 23 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	23.7% (19.8%)	28.4%	19.9%	22.4%	25.5%	22.9%	24.1%	20.8%	18.7%	24.9%	28.9%	23.0%	27.7%	21.1%
取組2	17.5% (15.3%)	22.2%	13.4%	19.0%	15.3%	19.2%	16.2%	16.1%	16.8%	16.9%	16.8%	15.6%	26.1%	14.1%
取組3	19.7% (14.5%)	23.6%	16.4%	21.3%	17.3%	17.5%	20.4%	17.3%	18.1%	25.3%	23.8%	15.1%	20.3%	14.1%
取組4	22.4% (16.3%)	25.8%	19.6%	23.4%	20.7%	21.6%	22.6%	23.4%	23.0%	23.0%	25.2%	20.4%	23.5%	16.7%

3 新・宮城の将来ビジョンについて

「新・宮城の将来ビジョン」に基づく取組について、8つの「つくる」ごとに「重視度」、「満足度」及び「今後優先すべきと思うテーマ」を調査したところ、次のような結果となりました。

(1) つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる

取組	テーマ
1 産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出	1 地域経済の核となる企業の誘致と先進的技術の活用促進 2 研究開発拠点の形成や産学官連携による地域産業の活性化 3 県内のものづくり産業の技術力・収益力の向上
2 宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	4 観光資源の創出・磨き上げによる高付加価値な観光産業の実現 5 観光客の受入環境整備と戦略的な情報発信による誘客促進 6 地域課題やニーズに対応した商業・サービス業の振興
3 地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	7 農林水産業の持続的発展と食産業の振興 8 県産農林水産物の販路開拓や適切な生産管理の支援 9 食の安全の確保と相互理解に基づく食の安心の促進

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は、78.7%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は 43.6%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は 23.0%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「3 県内のものづくり産業の技術力・収益力の向上 (13.5%)」で、次いで「1 地域経済の核となる企業の誘致と先進的技術の活用促進 (13.0%)」、「9 食の安全の確保と相互理解に基づく食の安心の促進 (12.6%)」の順となっています。

図 17 重視度割合 (県全体)

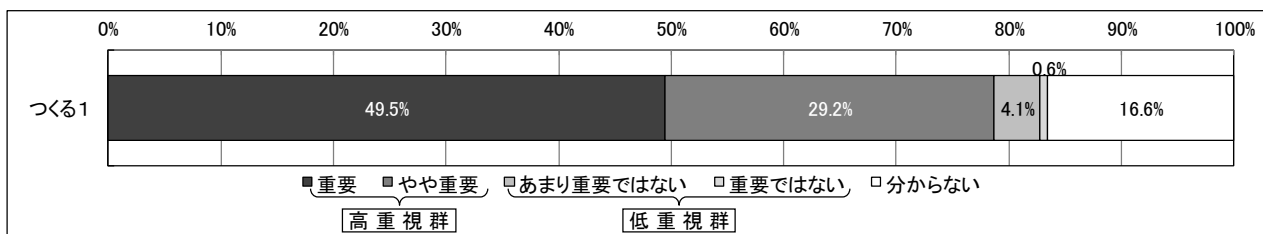


表 24 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる1	78.7%	81.7%	76.5%	79.8%	77.4%	78.0%	79.5%	79.4%	77.2%	77.8%	82.8%	77.7%	76.7%	80.4%

図 18 満足度割合 (県全体)

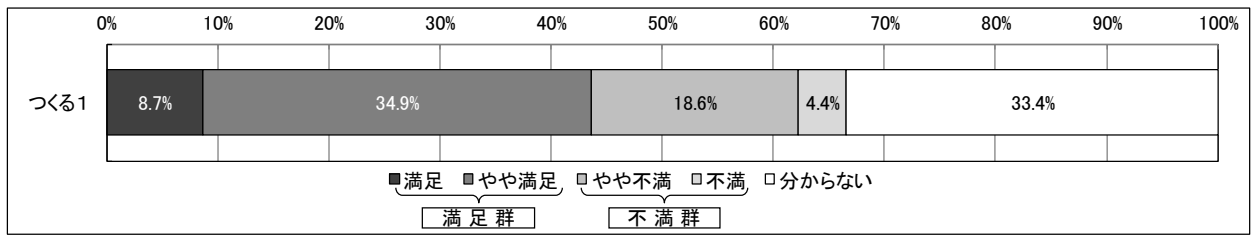


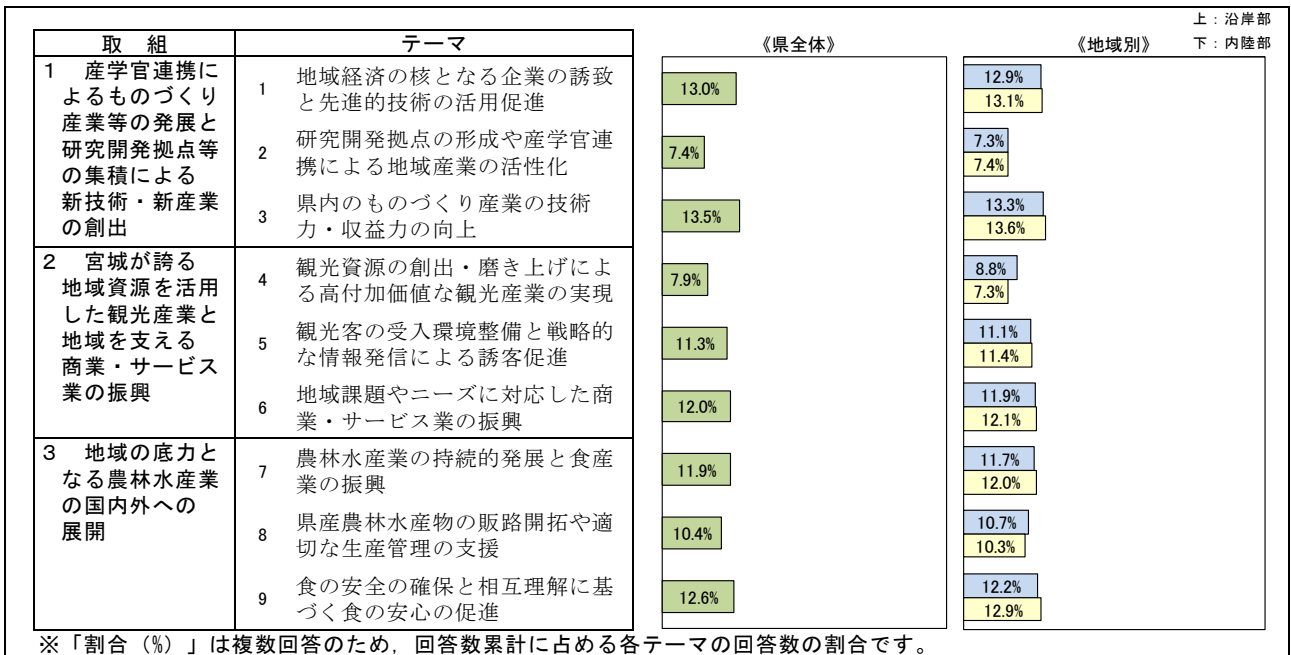
表 25 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる1	43.6%	42.8%	44.6%	43.0%	44.6%	41.4%	45.1%	48.5%	42.4%	42.8%	43.9%	44.7%	36.9%	45.8%

表 26 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる1	23.0%	29.8%	17.2%	24.2%	21.2%	22.4%	23.4%	21.4%	21.7%	26.8%	26.0%	19.0%	28.5%	17.4%

図 19 今後優先すべきと思うテーマ



(2) つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

取組	テーマ
4 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	1 県内への就職・就業の促進と産業人材の育成 2 誰もが柔軟に働き続けるための環境の整備 3 学び直しやリカレント教育の振興 4 創業や経営力強化の支援
5 時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	5 生産・物流・交流基盤の機能強化 6 産業基盤の有効活用 7 東北のゲートウェイ機能の強化

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は80.7%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は43.7%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は25.0%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 県内への就職・就業の促進と産業人材の育成(25.0%)」で、次いで「2 誰もが柔軟に働き続けるための環境の整備(21.5%)」及び「5 生産・物流・交流基盤の機能強化(21.5%)」の順となっています。

図 20 重視度割合 (県全体)

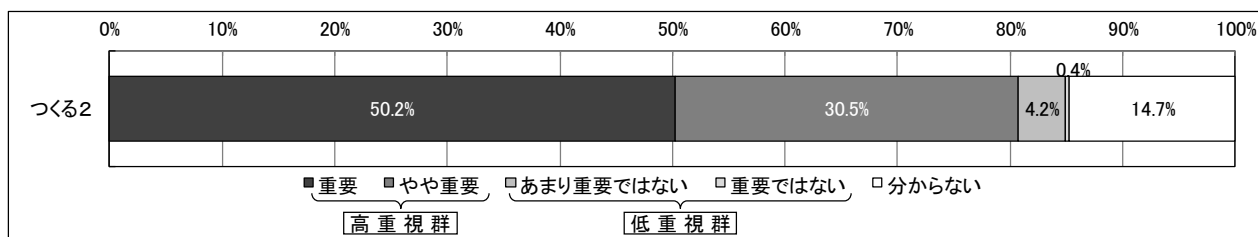


表 27 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる2	80.7%	83.4%	78.5%	82.7%	77.9%	80.6%	81.3%	80.8%	81.1%	80.6%	82.4%	81.1%	81.0%	80.0%

図 2 1 満足度割合 (県全体)

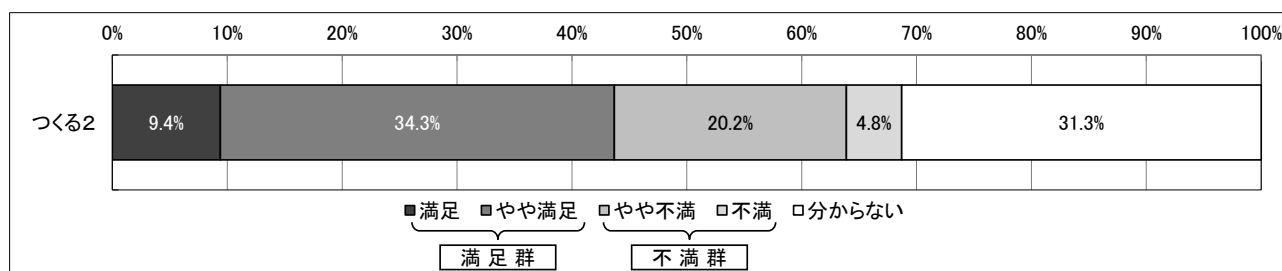


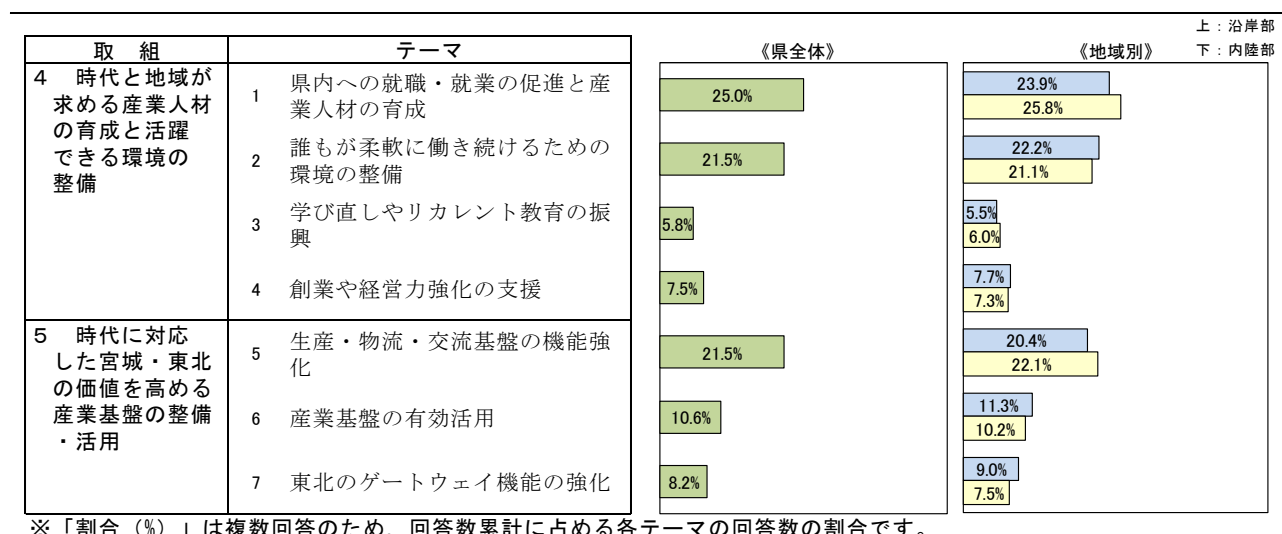
表 2 8 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる2	43.7%	43.9%	43.8%	42.6%	45.7%	43.0%	44.5%	46.0%	44.1%	43.8%	40.9%	46.1%	41.9%	44.8%

表 2 9 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる2	25.0%	30.8%	20.1%	26.8%	21.9%	23.1%	26.0%	22.4%	22.6%	29.2%	28.6%	23.9%	27.0%	19.7%

図 2 2 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各テーマの回答数の割合です。

(3) つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

取組	テーマ
6 結婚・出産・子育てを応援する環境の整備	1 結婚, 妊娠, 出産の希望を叶えるための支援 2 子育て家庭のニーズに応じた支援 3 子育て支援体制の充実や社会全体の気運醸成
7 家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築	4 成育環境の整備や教育機会の均等 5 児童虐待の防止や社会的養育体制の充実 6 子どもの基本的生活習慣の定着や家庭教育支援の充実 7 家庭・地域・学校の連携・協働の推進

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は88.7%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は38.4%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は39.8%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 結婚, 妊娠, 出産の希望を叶えるための支援 (17.1%)」で、次いで「5 児童虐待の防止や社会的養育体制の充実 (16.0%)」、「2 子育て家庭のニーズに応じた支援 (14.8%)」及び「3 子育て支援体制の充実や社会全体の気運醸成 (14.8%)」の順となっています。

図 23 重視度割合 (県全体)

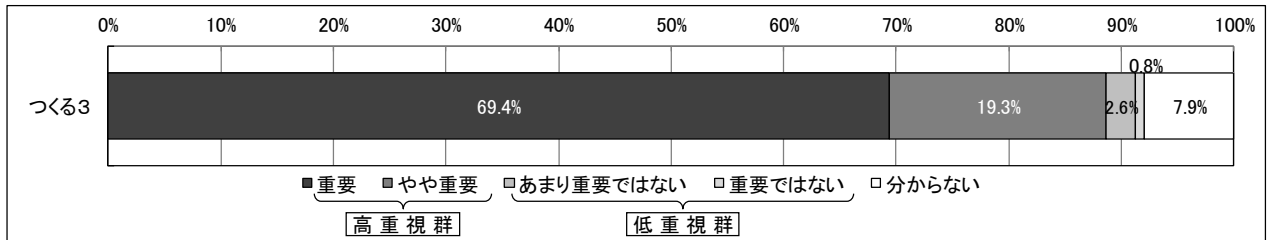


表 30 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる3	88.7%	87.8%	89.4%	89.2%	87.9%	88.3%	89.1%	87.3%	87.9%	90.0%	90.8%	88.3%	87.5%	89.6%

図 2 4 満足度割合 (県全体)

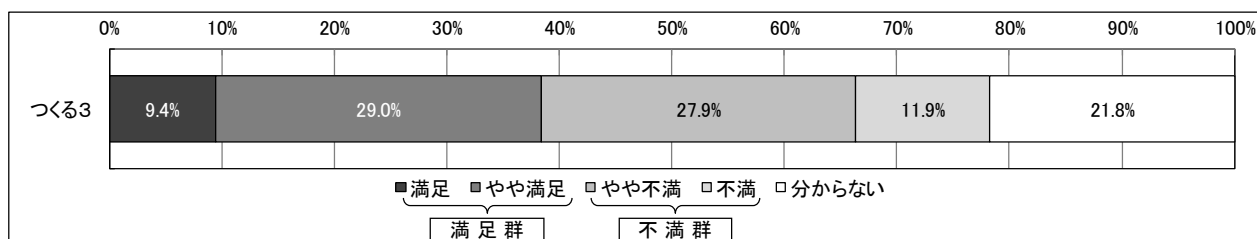


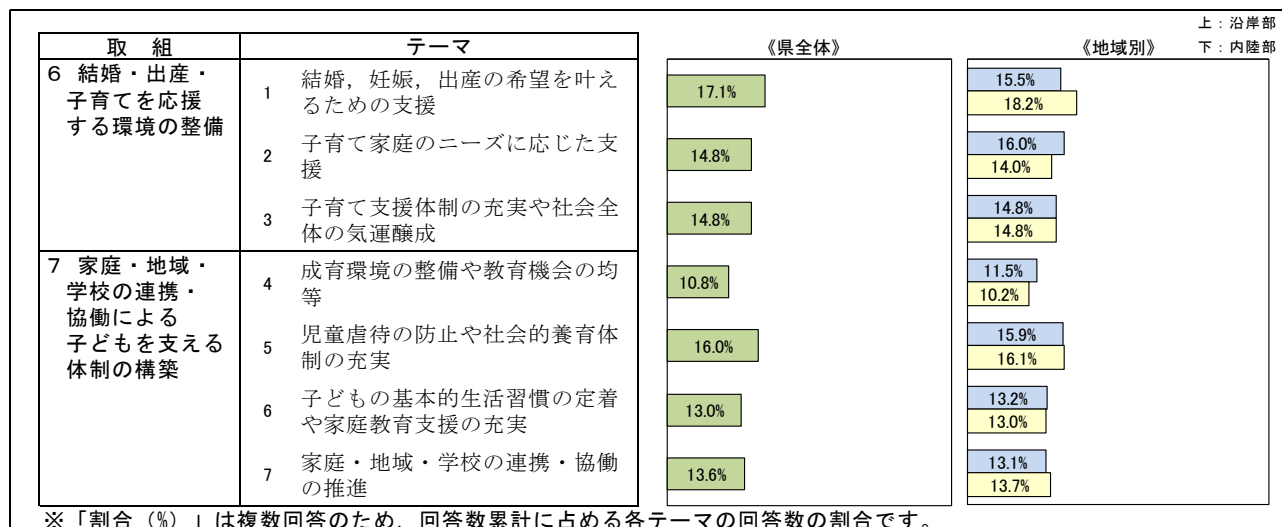
表 3 1 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる3	38.4%	36.7%	39.8%	36.7%	40.8%	37.7%	39.2%	39.7%	37.0%	39.9%	38.8%	37.4%	34.4%	42.6%

表 3 2 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる3	39.8%	42.9%	37.1%	42.1%	36.3%	36.7%	41.1%	39.6%	41.0%	43.1%	43.7%	37.8%	39.0%	30.2%

図 2 5 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各テーマの回答数の割合です。

(4) つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

取組	テーマ
8 多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成	1 豊かな人間性や社会性の育成 2 自己実現のための確かな学力の育成 3 新たな時代に必要な資質・能力の育成 4 健康な身体づくりや体力・運動能力の向上
9 安心して学び続けることができる教育体制の整備	5 魅力や特色ある学校づくり 6 共生社会の実現に向けた教育の推進 7 いじめ対策・不登校支援の総合的な推進 8 教職員支援体制の充実

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は86.6%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は38.4%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は35.2%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「7 いじめ対策・不登校支援の総合的な推進(17.1%)」で、次いで「1 豊かな人間性や社会性の育成(16.0%)」、「3 新たな時代に必要な資質・能力の育成(13.5%)」の順となっています。

図 26 重視度割合 (県全体)

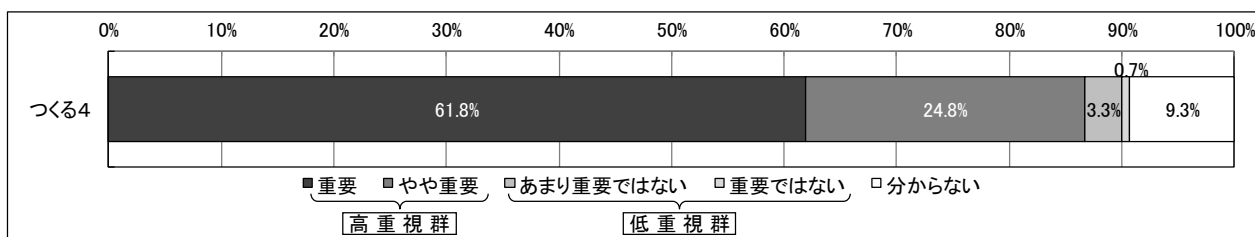


表 33 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる4	86.6%	86.0%	87.6%	88.5%	84.1%	86.4%	87.2%	86.9%	85.9%	86.4%	89.8%	86.3%	86.3%	86.4%

図 27 満足度割合 (県全体)

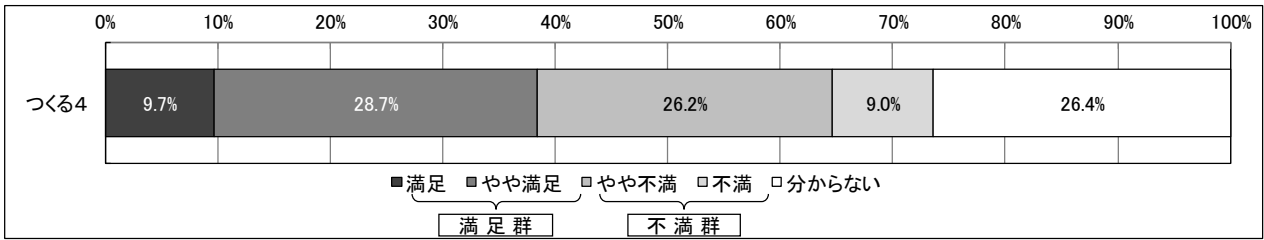


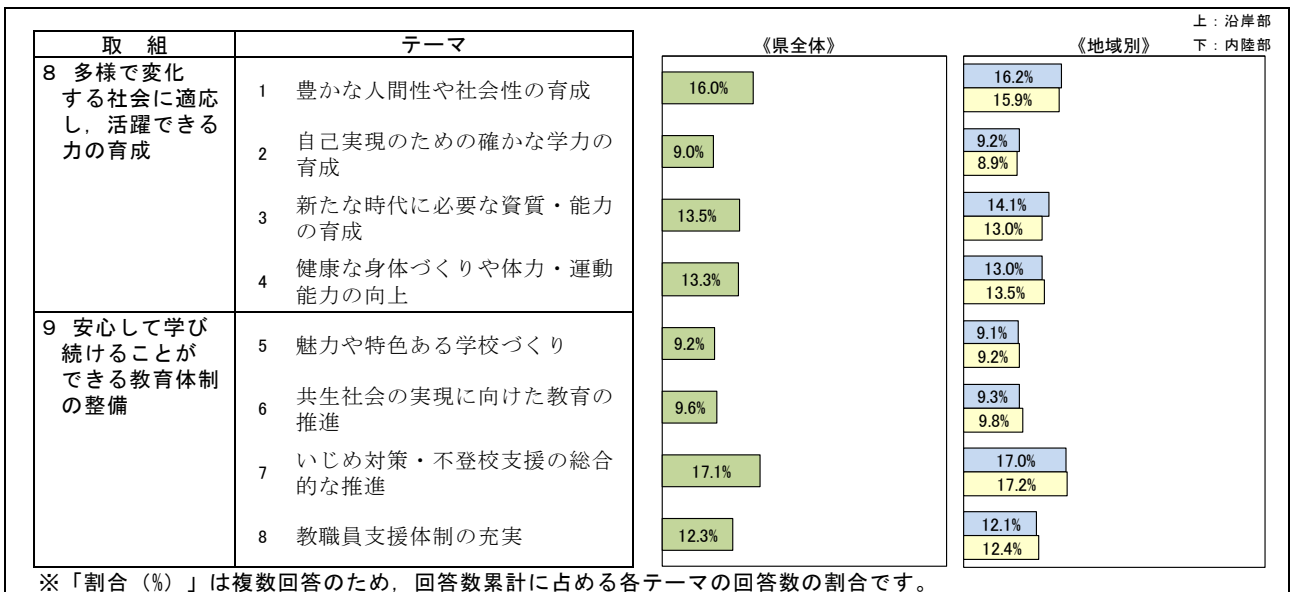
表 34 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる4	38.4%	37.8%	39.1%	37.1%	40.5%	35.6%	40.3%	42.1%	32.2%	39.7%	37.1%	41.7%	37.4%	39.2%

表 35 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる4	35.2%	38.5%	32.4%	36.5%	32.9%	34.8%	35.2%	33.6%	40.2%	37.1%	42.2%	26.4%	33.5%	31.4%

図 28 今後優先すべきと思うテーマ



(5) つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

取組	テーマ
10 就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進	1 様々な状況に対応した就業の支援 2 女性や高齢者等の社会参画の促進 3 地域コミュニティの機能強化と活性化の支援 4 外国人が活躍しやすい社会の構築
11 文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興	5 文化芸術の振興 6 文化芸術やスポーツの多方面への活用 7 スポーツの振興 8 様々な機会の学びの活性化

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は80.4%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は40.9%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は32.1%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 様々な状況に対応した就業の支援(20.8%)」で、次いで「8 様々な機会の学びの活性化(18.1%)」、「2 女性や高齢者等の社会参画の促進(16.0%)」の順となっています。

図 29 重視度割合 (県全体)

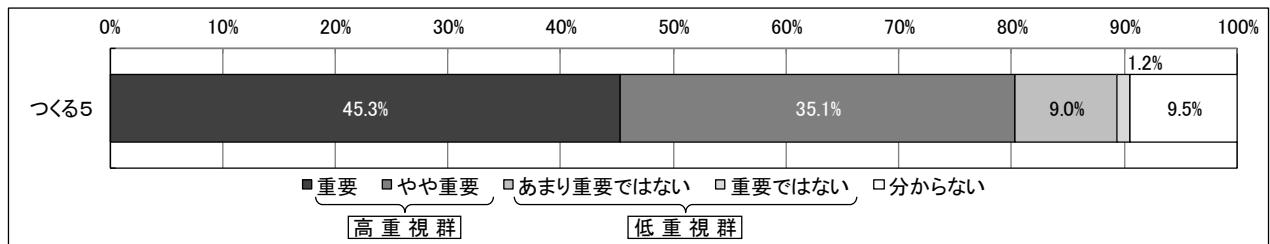


表 36 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる5	80.4%	79.0%	81.6%	79.9%	81.4%	78.4%	81.7%	81.1%	78.0%	81.5%	83.9%	80.1%	78.7%	79.0%

図 30 満足度割合 (県全体)

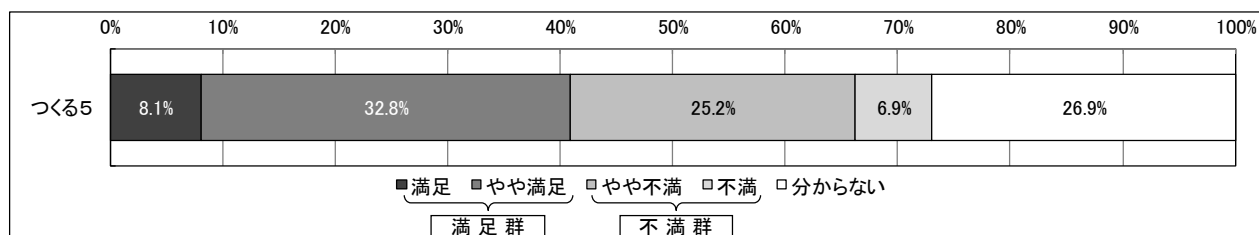


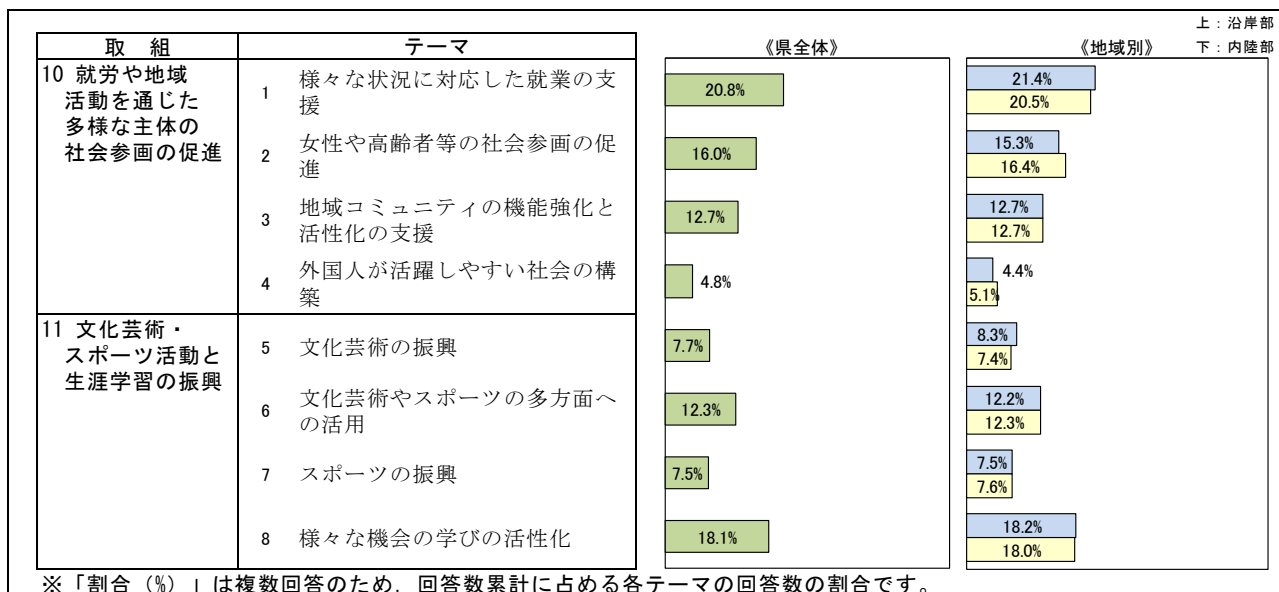
表 37 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる5	40.9%	39.9%	41.8%	39.0%	43.6%	39.6%	42.0%	42.0%	39.0%	42.3%	41.0%	41.3%	36.0%	45.1%

表 38 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる5	32.1%	36.0%	29.0%	32.3%	32.0%	31.0%	32.6%	31.7%	34.2%	35.3%	37.2%	26.5%	32.7%	25.4%

図 31 今後優先すべきと思うテーマ



(6) つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

取組	テーマ
12 生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供	1 心身の健康づくりの支援体制強化 2 切れ目のない医療提供体制の整備 3 感染症対策の推進 4 高齢者を支える体制整備の促進
13 障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現	5 障害者の権利擁護や社会的障壁の除去 6 誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりの推進 7 障害者や難病患者等を支える体制整備の促進
14 暮らし続けられる安全安心な地域の形成	8 地域交通の維持や柔軟な移動手段の普及支援 9 商店街の活性化等によるまちづくりの支援 10 地域の安全安心の確保

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は91.1%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は45.2%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は33.8%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「2 切れ目のない医療提供体制の整備(13.3%)」で、次いで「8 地域交通の維持や柔軟な移動手段の普及支援(13.0%)」、「4 高齢者を支える体制整備の促進(10.9%)」の順となっています。

図 3 2 重視度割合 (県全体)

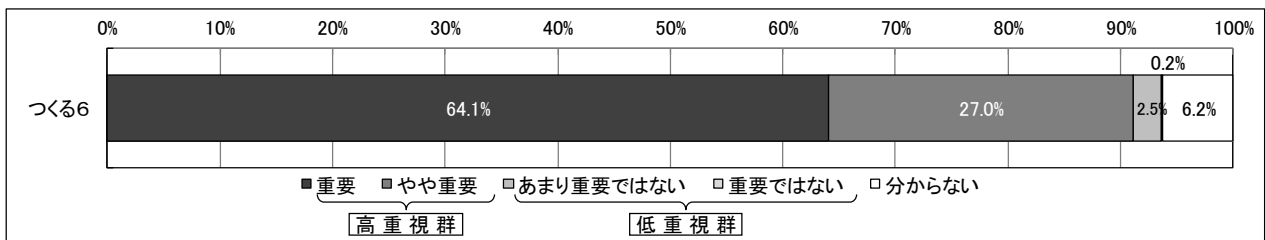


表 3 9 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる6	91.1%	89.8%	92.2%	90.9%	91.6%	89.8%	92.1%	91.7%	89.6%	93.5%	92.9%	90.3%	90.5%	89.5%

図 3 3 満足度割合 (県全体)

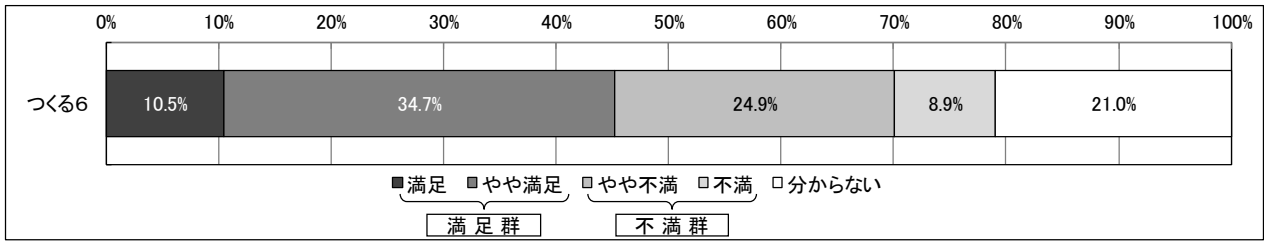


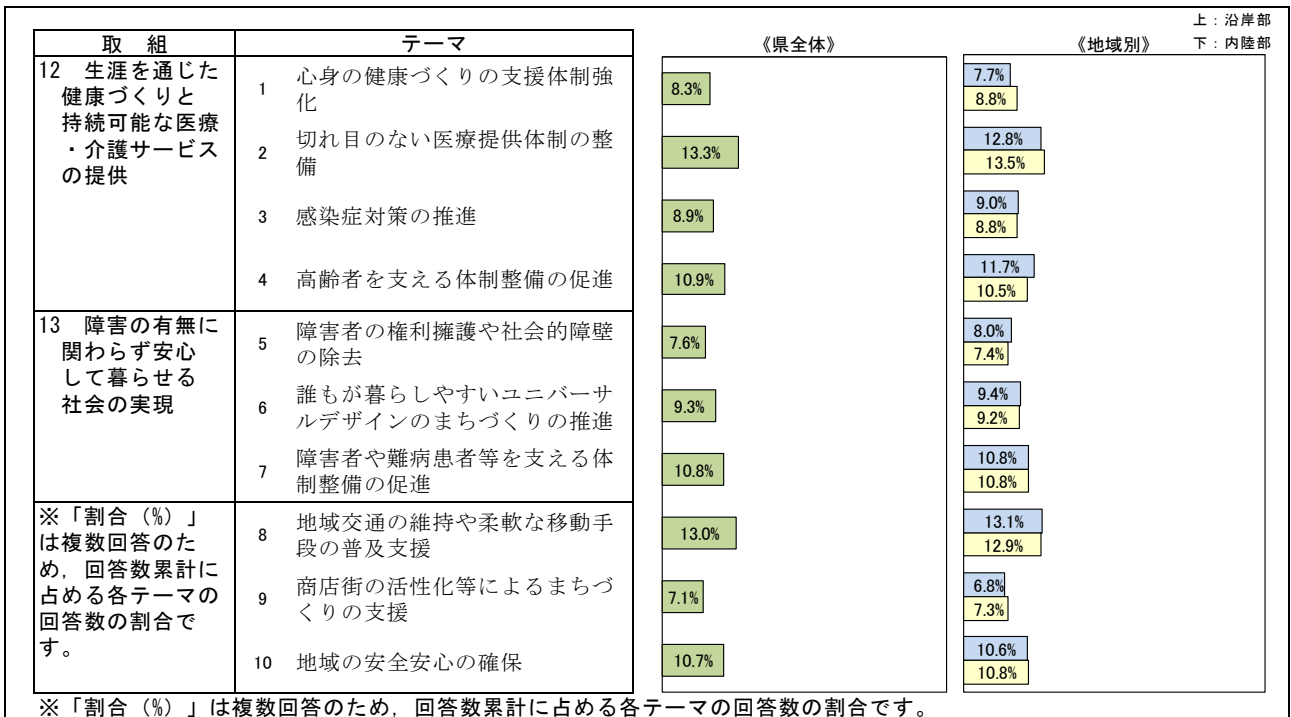
表 4 0 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる6	45.2%	46.4%	44.4%	41.8%	50.1%	44.0%	46.0%	49.4%	40.9%	46.2%	41.4%	45.9%	43.3%	49.3%

表 4 1 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる6	33.8%	34.8%	32.9%	35.8%	31.0%	32.2%	34.8%	32.8%	35.6%	35.4%	39.8%	31.7%	33.0%	27.2%

図 3 4 今後優先すべきと思うテーマ



(7) つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる

取組	テーマ
15 環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	1 環境課題の理解と配慮行動の促進 2 省エネ行動, 再生可能エネルギー等の利用促進 3 環境関連産業の振興 4 廃棄物の削減や有効活用 5 廃棄物の適正処理
16 豊かな自然と共生・調和する社会の構築	6 自然環境や生態系の保全 7 自然環境に関する学びの環境整備等 8 地域資源・多面的機能の保全・活用 9 都市と農山漁村の交流促進や景観形成等

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は81.2%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は40.4%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は30.0%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「2 省エネ行動, 再生可能エネルギー等の利用促進(16.6%)」で、次いで「6 自然環境や生態系の保全(16.0%)」、「4 廃棄物の削減や有効活用(13.4%)」の順となっています。

図 35 重視度割合 (県全体)

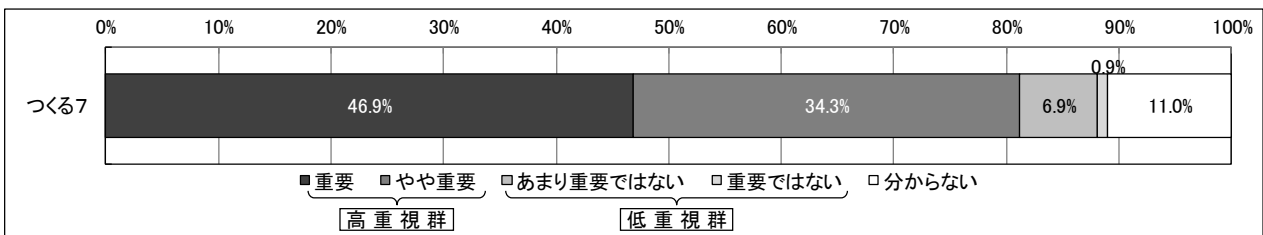


表 42 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる7	81.2%	82.5%	80.3%	81.5%	80.8%	79.8%	82.6%	81.5%	81.1%	86.4%	84.0%	77.6%	78.2%	80.7%

図 3 6 満足度割合 (県全体)

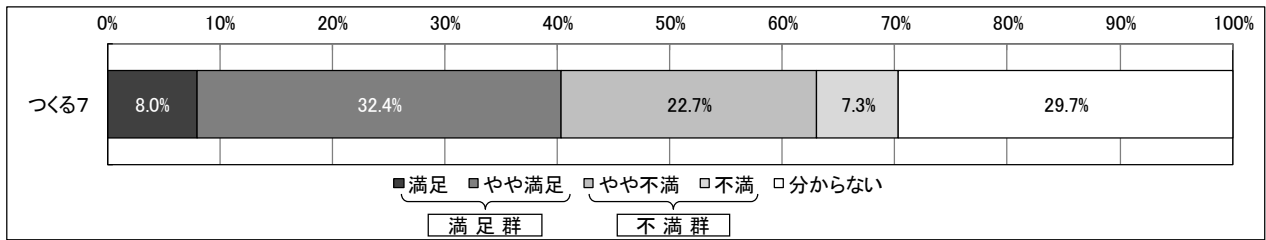


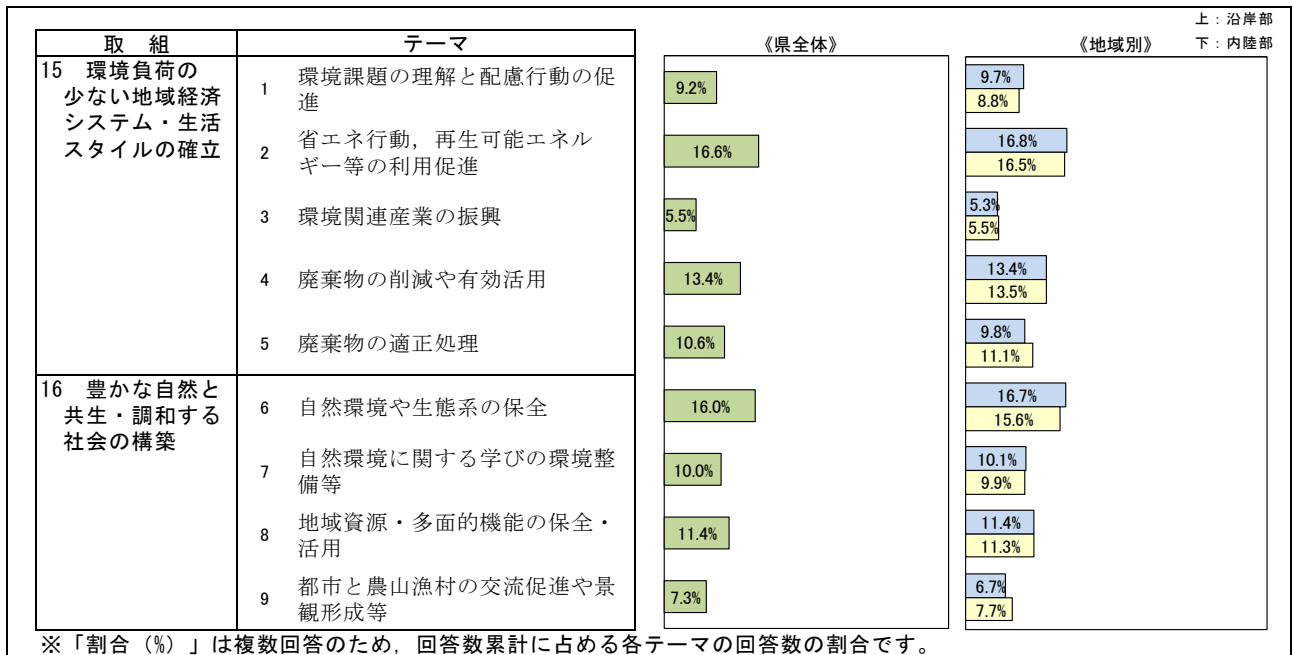
表 4 3 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる7	40.4%	41.4%	39.5%	40.3%	40.2%	41.1%	40.1%	38.6%	40.0%	43.3%	37.6%	38.8%	40.5%	44.8%

表 4 4 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる7	30.0%	35.3%	25.6%	29.0%	31.6%	25.3%	32.6%	31.5%	26.1%	33.7%	34.8%	31.0%	26.9%	22.6%

図 3 7 今後優先すべきと思うテーマ



(8) つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

取組	テーマ
17 大規模化・多様化する災害への対策の強化	1 東日本大震災の経験を生かした災害対応力向上 2 地域防災体制の活性化 3 県民の防災意識の向上 4 防災教育の充実 5 災害に備えた防災体制の充実
18 生活を支える社会資本の整備、維持・管理体制の充実	6 社会資本の整備と長寿命化対策の推進 7 企業や地域社会と協働した公共施設の管理の促進

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は82.8%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は44.6%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は25.7%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 東日本大震災の経験を生かした災害対応力向上(19.3%)」で、次いで「5 災害に備えた防災体制の充実(17.4%)」、「6 社会資本の整備と長寿命化対策の推進(16.7%)」の順となっています。

図 38 重視度割合 (県全体)

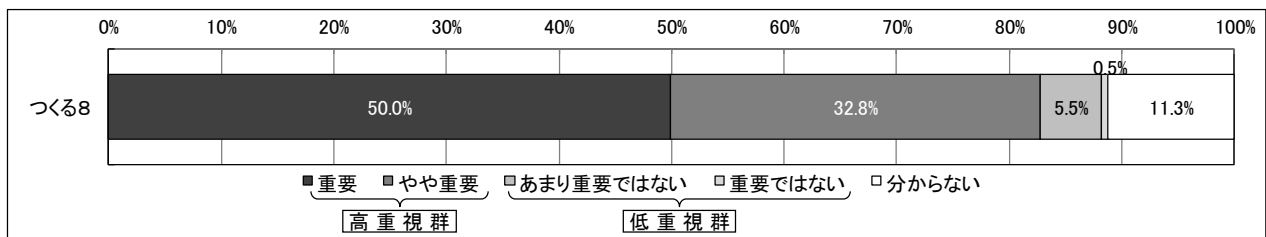


表 45 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる8	82.8%	83.2%	82.5%	81.8%	84.3%	84.0%	82.6%	84.7%	82.1%	81.6%	82.5%	81.1%	84.3%	85.2%

図 39 満足度割合 (県全体)

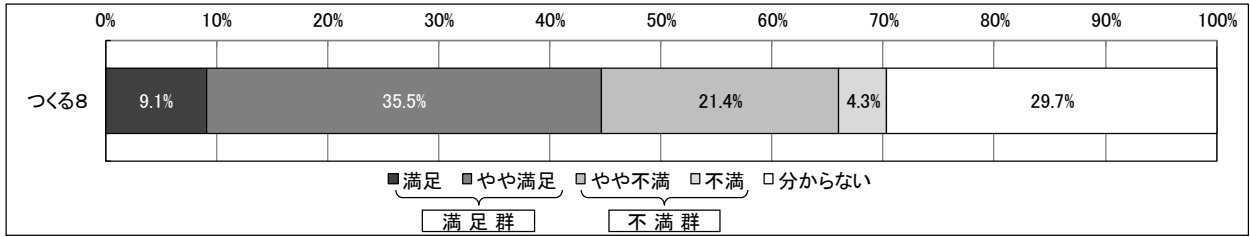


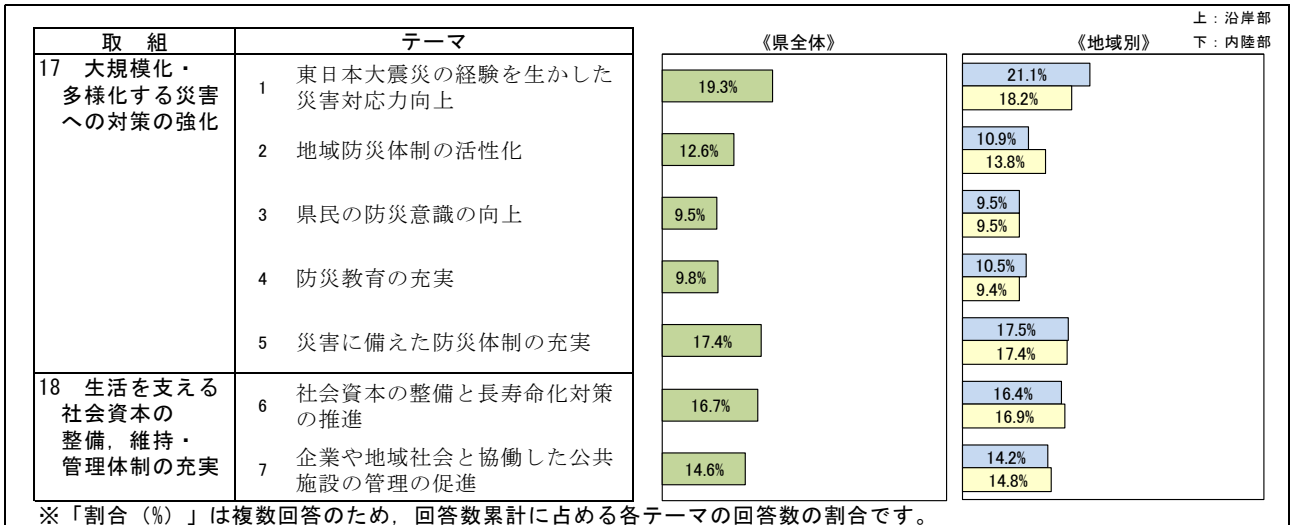
表 46 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる8	44.6%	46.1%	43.6%	44.7%	44.9%	45.2%	44.8%	44.0%	45.7%	46.3%	40.5%	46.9%	39.2%	51.8%

表 47 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる8	25.7%	29.6%	22.3%	23.6%	28.5%	23.5%	26.5%	27.8%	24.0%	27.2%	29.3%	21.4%	28.4%	18.4%

図 40 今後優先すべきと思うテーマ



【つくる1～つくる8の重視度・満足度のまとめ】

図 4 1 8つの「つくる」の重視度割合の比較 (県全体)

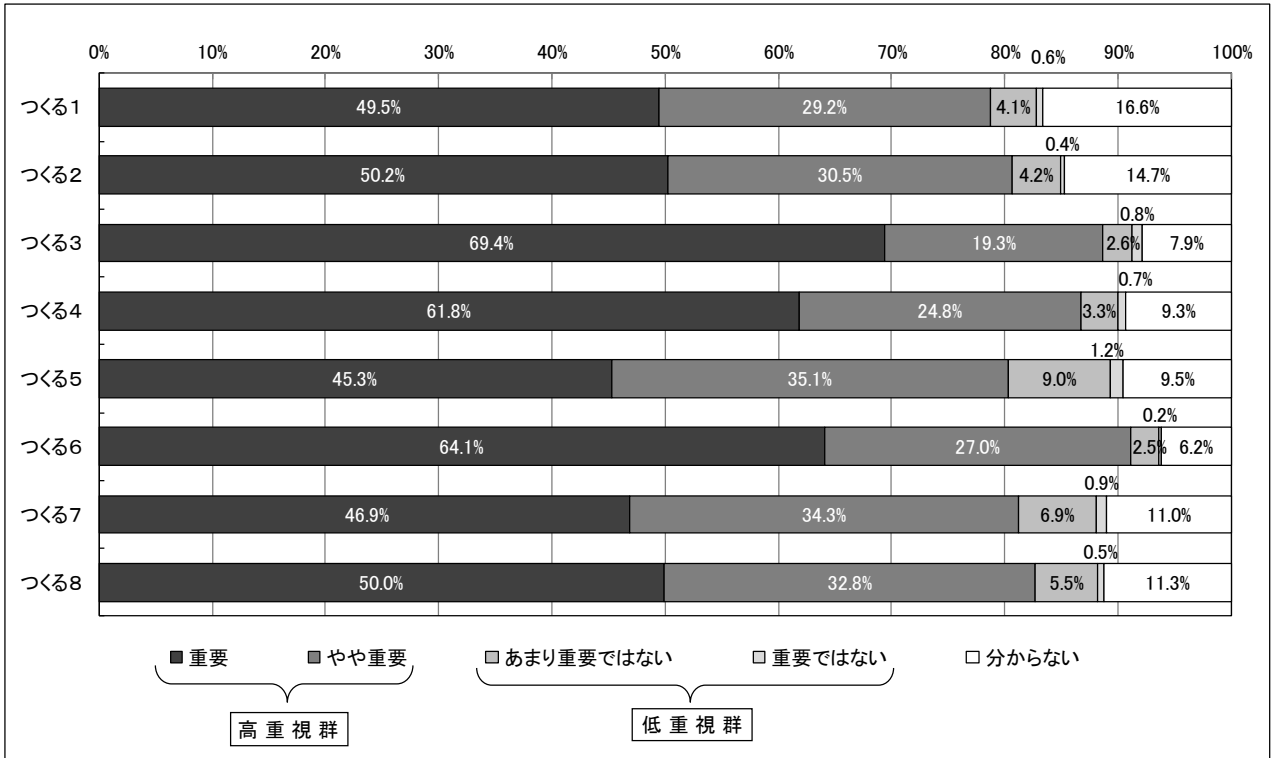
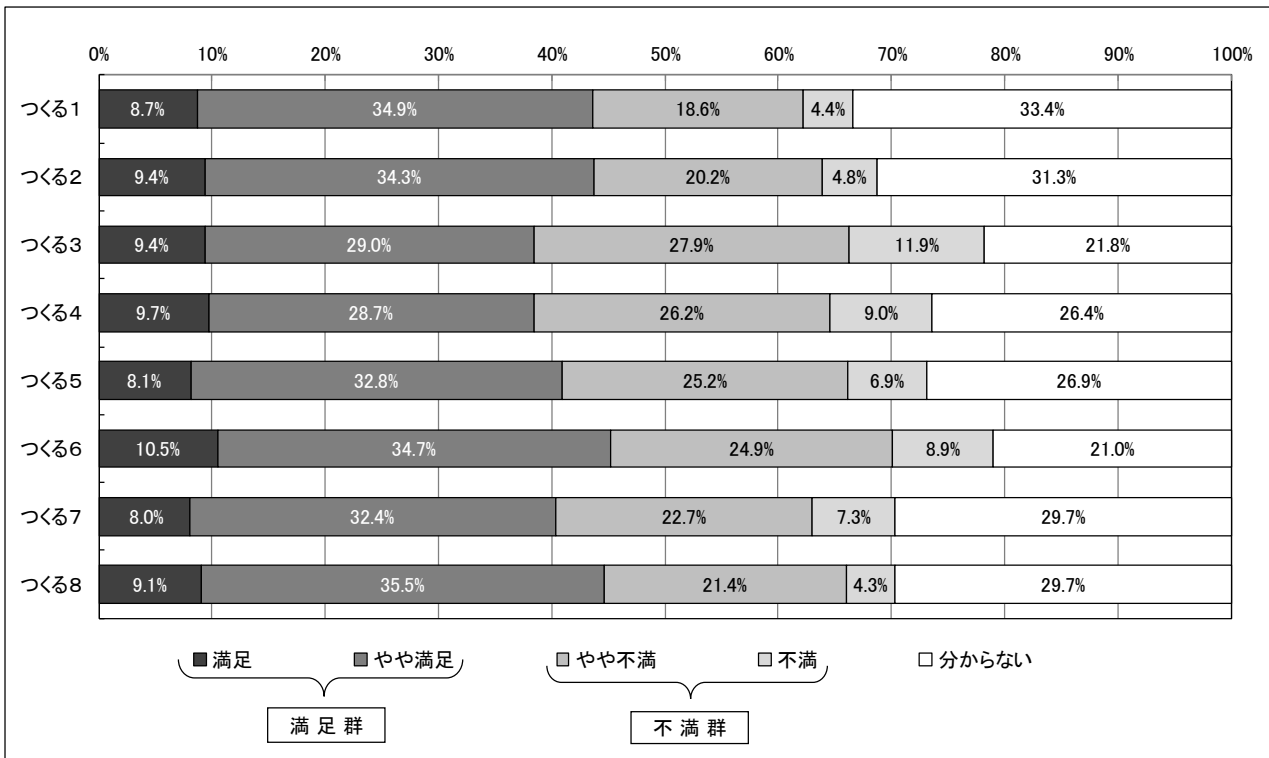


図 4 2 8つの「つくる」の満足度割合の比較 (県全体)



Ⅲ 参考資料

1 回答者属性一覧

区 分		抽出数		回答者数		回収率 (%)	(参考) 県人口構成 比(%)
		実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)		
県全体		4,000	100.0	1,859	100.0	46.5	100.0
性 別	男性	2,000	50.0	835	45.1	41.8	48.4
	女性	2,000	50.0	1,017	54.9	50.9	51.6
年 代	10歳代(18歳以上)	67	1.7	14	0.8	20.9	2.5
	20歳代	359	9.0	111	6.0	30.9	12.0
	30歳代	468	11.7	159	8.6	34.0	14.9
	40歳代	664	16.6	273	14.8	41.1	16.2
	50歳代	638	16.0	314	17.0	49.2	15.1
	60～64歳	352	8.8	195	10.6	55.4	8.8
	65歳以上 (うち75歳以上)	1,452	36.3	780	42.3	53.7	30.6
居住地(地域)	沿岸部	1,632	40.8	680	37.3	41.7	73.5
	内陸部	2,368	59.2	1,143	62.7	48.3	26.5
居住地(圏域)	仙南圏域	571	14.3	287	15.7	50.3	7.5
	仙台圏域	572	14.3	235	12.9	41.1	65.8
	大崎圏域	572	14.3	289	15.9	50.5	8.7
	栗原圏域	571	14.3	281	15.4	49.2	3.0
	登米圏域	571	14.3	258	14.2	45.2	3.4
	石巻圏域	572	14.3	232	12.7	40.6	8.3
	気仙沼・本吉圏域	571	14.3	241	13.2	42.2	3.3
職 業	自営業主・家族従業者	—	—	261	14.3	—	—
	被用者	—	—	843	46.0	—	—
	企業役員・団体代表等	—	—	27	1.5	—	—
	専業主婦(主夫)	—	—	248	13.5	—	—
	学生	—	—	24	1.3	—	—
	無職	—	—	401	21.9	—	—
	その他	—	—	27	1.5	—	—
	業種別	農業, 林業	—	—	161	14.2	—
漁業	—	—	18	1.6	—	—	
鉱業, 採石業, 砂利採取業	—	—	1	0.1	—	—	
建設業	—	—	89	7.9	—	—	
製造業	—	—	199	17.6	—	—	
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	26	2.3	—	—	
情報通信業	—	—	14	1.2	—	—	
運輸業, 郵便業	—	—	49	4.3	—	—	
卸売業, 小売業	—	—	90	8.0	—	—	
金融業, 保険業	—	—	26	2.3	—	—	
不動産業, 物品賃貸業	—	—	10	0.9	—	—	
学術研究, 専門・技術サービス業	—	—	19	1.7	—	—	
宿泊業, 飲食サービス業	—	—	45	4.0	—	—	
教育, 学習支援業	—	—	58	5.1	—	—	
医療・福祉	—	—	142	12.6	—	—	
その他のサービス業	—	—	121	10.7	—	—	
公務	—	—	50	4.4	—	—	
その他	—	—	13	1.1	—	—	

※1 各属性には不明分があるため、属性ごとの実数の合計と全体の合計は一致しません。

※2 年代別の県人口構成比については、総務省統計局「平成27年国勢調査結果」の18歳以上の男女における割合を基に算出しています。
その他の属性別については、令和3年6月1日現在の選挙人名簿登録者数を基に算出しています。

2 宮城県震災復興計画（各取組の「高重視群」,「満足群」,「不満群」の概要）

宮城県震災復興計画に基づく取組	高重視群											
	県全体				沿岸部				内陸部			
	割合		順位		割合		順位		割合		順位	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
1-1 被災者の生活環境の確保	79.2	65.2	17	16	80.0	64.2	17	17	79.5	66.2	17	16
1-2 廃棄物の適正処理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1-3 持続可能な社会と環境保全の実現	77.7	71.7	19	12	78.2	72.1	19	12	77.7	71.7	18	12
2-1 安心できる地域医療の確保	89.0	77.7	④	6	89.6	76.0	6	9	89.1	78.8	③	④
2-2 未来を担う子どもたちへの支援	89.4	80.3	③	②	90.6	79.9	④	④	88.9	81.1	⑤	①
2-3 だれもが住みよい地域社会の構築	86.7	75.0	10	10	85.7	74.8	11	11	87.4	75.2	9	8
3-1 ものづくり産業の復興	80.2	64.3	15	17	79.6	62.1	18	19	80.9	65.9	16	17
3-2 商業・観光の再生	76.8	62.0	21	21	78.1	60.8	20	21	76.8	62.8	21	20
3-3 雇用の維持・確保	83.3	68.0	14	15	83.8	68.5	12	15	83.7	67.9	14	15
4-1 魅力ある農業・農村の再興	80.2	61.9	15	22	80.3	58.7	16	22	81.1	64.0	15	18
4-2 活力ある林業の再生	73.8	55.7	23	23	75.3	56.7	22	23	73.4	55.2	23	23
4-3 新たな水産業の創造	79.2	63.4	17	18	83.3	67.9	14	16	77.5	60.6	19	22
4-4 一次産業を牽引する食産業の振興	77.2	62.3	20	20	77.6	61.4	21	20	77.4	63.2	20	19
5-1 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進	88.4	75.1	8	9	88.8	78.4	8	6	88.4	73.2	7	11
5-2 海岸、河川などの県土保全	90.1	78.6	②	④	90.7	80.2	③	③	90.2	77.6	①	6
5-3 上下水道などのライフラインの整備	90.5	76.5	①	7	91.8	77.1	①	8	90.1	75.8	②	7
5-4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築	85.7	75.2	11	8	87.8	77.5	9	7	84.6	73.9	12	10
6-1 安全・安心な学校教育の確保	88.8	78.5	7	⑤	89.2	79.1	7	⑤	89.1	78.4	③	⑤
6-2 家庭・地域の教育力の再構築	86.8	75.0	9	10	86.0	75.7	10	10	87.3	74.7	10	9
6-3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実	74.7	63.0	22	19	74.2	63.5	23	18	75.4	62.8	22	20
7-1 防災機能の再構築	89.0	79.5	④	③	90.0	80.6	⑤	②	88.7	78.9	6	③
7-2 大津波等への備え	89.0	81.8	④	①	91.5	84.2	②	①	87.8	80.3	8	②
7-3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化	83.7	70.6	13	13	83.1	71.5	15	13	84.5	69.7	13	13
7-4 安全・安心な地域社会の構築	84.3	69.0	12	14	83.8	69.1	12	14	85.1	68.9	11	14

※1 「1-2 廃棄物の適正処理」は、災害廃棄物の処理が完了しており、調査を行っておりません。

※2 上位1位から5位までについては、数字を○で囲んでいます。

宮城県震災復興計画に基づく取組	
1-1	被災者の生活環境の確保
1-2	廃棄物の適正処理
1-3	持続可能な社会と環境保全の実現
2-1	安心できる地域医療の確保
2-2	未来を担う子どもたちへの支援
2-3	だれもが住みよい地域社会の構築
3-1	ものづくり産業の復興
3-2	商業・観光の再生
3-3	雇用の維持・確保
4-1	魅力ある農業・農村の再興
4-2	活力ある林業の再生
4-3	新たな水産業の創造
4-4	一次産業を牽引する食産業の振興
5-1	道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進
5-2	海岸、河川などの県土保全
5-3	上下水道などのライフラインの整備
5-4	沿岸市町をはじめとするまちの再構築
6-1	安全・安心な学校教育の確保
6-2	家庭・地域の教育力の再構築
6-3	生涯学習・文化・スポーツ活動の充実
7-1	防災機能の再構築
7-2	大津波等への備え
7-3	自助・共助による市民レベルの防災体制の強化
7-4	安全・安心な地域社会の構築

満足群											
県全体				沿岸部				内陸部			
割合		順位		割合		順位		割合		順位	
今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
56.0	43.8	10	11	58.5	44.4	6	11	55.1	43.1	15	13
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47.4	43.0	21	12	50.3	41.7	18	13	46.1	44.1	22	11
57.0	45.9	7	7	58.6	46.2	⑤	8	56.3	45.7	11	6
61.5	49.4	④	③	62.8	49.1	④	④	61.1	50.1	④	③
56.3	45.6	9	9	56.6	45.7	9	9	56.4	45.2	10	9
46.2	34.3	22	21	44.3	32.5	23	21	47.6	35.4	21	20
49.8	38.6	17	17	49.2	37.4	19	17	50.2	39.3	16	17
44.9	34.8	23	20	44.7	35.5	22	20	45.2	34.2	23	22
48.2	33.0	20	23	48.2	31.5	20	23	48.8	34.1	19	23
48.6	33.6	19	22	47.7	32.0	21	22	49.6	34.6	17	21
49.9	36.4	16	19	52.0	37.4	16	17	49.0	35.9	18	19
49.2	36.8	18	18	50.9	36.4	17	19	48.4	37.3	20	18
68.7	54.0	①	②	66.9	57.0	①	②	70.0	52.2	①	②
58.1	46.4	6	6	58.5	48.2	6	⑤	57.9	45.1	6	10
62.2	46.5	③	⑤	63.7	46.7	③	6	61.2	46.0	③	④
58.5	47.6	⑤	④	57.6	49.8	8	③	59.5	45.7	⑤	6
56.8	45.3	8	10	55.8	44.7	10	10	57.7	45.7	7	6
54.6	42.6	14	13	52.6	41.9	15	12	56.1	43.3	13	12
54.5	39.9	15	15	53.4	40.6	14	14	55.4	39.4	14	16
55.8	45.9	11	7	55.6	46.4	11	7	56.3	45.8	11	⑤
64.9	55.1	②	①	66.9	57.3	①	①	64.2	53.4	②	①
55.6	40.2	12	14	54.9	39.8	12	15	56.5	40.4	9	14
55.1	39.5	13	16	53.6	38.3	13	16	56.6	40.2	8	15

※1 「1-2 廃棄物の適正処理」は、災害廃棄物の処理が完了しており、調査を行っていません。

※2 上位1位から5位までについては、数字を○で囲んでいます。

宮城県震災復興計画に基づく取組	
1-1	被災者の生活環境の確保
1-2	廃棄物の適正処理
1-3	持続可能な社会と環境保全の実現
2-1	安心できる地域医療の確保
2-2	未来を担う子どもたちへの支援
2-3	だれもが住みよい地域社会の構築
3-1	ものづくり産業の復興
3-2	商業・観光の再生
3-3	雇用の維持・確保
4-1	魅力ある農業・農村の再興
4-2	活力ある林業の再生
4-3	新たな水産業の創造
4-4	一次産業を牽引する食産業の振興
5-1	道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進
5-2	海岸、河川などの県土保全
5-3	上下水道などのライフラインの整備
5-4	沿岸市町をはじめとするまちの再構築
6-1	安全・安心な学校教育の確保
6-2	家庭・地域の教育力の再構築
6-3	生涯学習・文化・スポーツ活動の充実
7-1	防災機能の再構築
7-2	大津波等への備え
7-3	自助・共助による市民レベルの防災体制の強化
7-4	安全・安心な地域社会の構築

不満群											
県全体				沿岸部				内陸部			
割合		順位		割合		順位		割合		順位	
今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
16.4	16.7	23	12	17.4	18.0	22	10	15.6	16.2	22	13
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28.4	20.4	②	②	25.8	21.9	④	②	30.0	19.5	①	④
24.5	18.9	⑤	⑤	24.5	19.8	6	③	24.3	18.3	6	7
18.4	15.9	19	16	17.1	17.3	23	12	19.1	14.6	16	17
20.9	16.5	14	14	20.6	18.4	11	9	20.7	15.3	13	16
24.1	18.6	7	6	24.6	18.0	⑤	10	23.8	19.2	8	⑤
26.5	18.6	③	6	27.4	18.5	③	8	26.1	18.9	③	6
29.3	19.8	①	③	28.1	19.2	①	7	30.0	20.5	①	②
24.2	17.7	6	9	20.9	16.7	10	16	25.8	18.3	④	7
18.7	13.7	18	22	18.2	13.2	18	23	18.6	14.2	18	21
19.4	13.7	16	22	20.4	15.4	12	20	18.4	12.6	20	23
21.6	14.8	11	19	19.4	15.5	16	19	22.6	14.3	10	19
16.9	14.3	22	21	19.9	15.2	15	21	15.2	13.9	23	22
26.5	23.0	③	①	27.9	24.3	②	①	25.8	22.1	④	①
19.2	17.1	17	11	18.1	16.9	19	14	20.1	17.3	15	10
21.1	17.5	13	10	24.3	19.4	7	⑤	19.0	16.4	17	12
21.5	18.1	12	8	20.3	19.4	13	⑤	22.0	17.4	12	9
22.2	16.6	10	13	20.2	17.3	14	12	23.1	16.1	9	14
18.4	15.7	19	17	17.9	15.7	20	18	18.5	16.0	19	15
23.7	19.8	8	③	22.9	19.5	8	④	24.1	19.9	7	③
17.5	15.3	21	18	19.2	16.9	17	14	16.2	14.3	21	19
19.7	14.5	15	20	17.5	14.4	21	22	20.4	14.5	14	18
22.4	16.3	9	15	21.6	15.9	9	17	22.6	16.5	10	11

※1 「1-2 廃棄物の適正処理」は、災害廃棄物の処理が完了しており、調査を行っておりません。

※2 上位1位から5位までについては、数字を○で囲んでいます。

3 新・宮城の将来ビジョン（8つの「つくる」の「高重視群」,「満足群」,「不満群」の概要）

新・宮城の将来ビジョンに基づく8つの「つくる」	
つくる1	全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる
つくる2	産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる
つくる3	子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる
つくる4	社会を生き、未来を切りひらく力をはぐむ教育環境をつくる
つくる5	一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる
つくる6	健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる
つくる7	自然と人間が共存共栄する社会をつくる
つくる8	世代を超えて安全で信頼のある強くなやかな県土をつくる

高重視群					
県全体		沿岸部		内陸部	
割合	順位	割合	順位	割合	順位
78.7	8	78.0	8	79.5	8
80.7	6	80.6	⑤	81.3	7
88.7	②	88.3	②	89.1	②
86.6	③	86.4	③	87.2	③
80.4	7	78.4	7	81.7	6
91.1	①	89.8	①	92.1	①
81.2	⑤	79.8	6	82.6	④
82.8	④	84.0	④	82.6	④

※1 上位1位から5位までについては、数字を○で囲んでいます。

新・宮城の将来ビジョンに基づく8つの「つくる」	
つくる1	全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる
つくる2	産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる
つくる3	子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる
つくる4	社会を生き、未来を切りひらく力をはぐむ教育環境をつくる
つくる5	一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる
つくる6	健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる
つくる7	自然と人間が共存共栄する社会をつくる
つくる8	世代を超えて安全で信頼のある強くなやかな県土をつくる

満足群					
県全体		沿岸部		内陸部	
割合	順位	割合	順位	割合	順位
43.6	④	41.4	④	45.1	②
43.7	③	43.0	③	44.5	④
38.4	7	37.7	7	39.2	8
38.4	7	35.6	8	40.3	6
40.9	⑤	39.6	6	42.0	⑤
45.2	①	44.0	②	46.0	①
40.4	6	41.1	⑤	40.1	7
44.6	②	45.2	①	44.8	③

※1 上位1位から5位までについては、数字を○で囲んでいます。

新・宮城の将来ビジョンに基づく8つの「つくる」
つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる
つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる
つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる
つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐむ教育環境をつくる
つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる
つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる
つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる
つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くなやかな県土をつくる

不満群					
県全体		沿岸部		内陸部	
割合	順位	割合	順位	割合	順位
23.0	8	22.4	8	23.4	8
25.0	7	23.1	7	26.0	7
39.8	①	36.7	①	41.1	①
35.2	②	34.8	②	35.2	②
32.1	④	31.0	④	32.6	④
33.8	③	32.2	③	34.8	③
30.0	⑤	25.3	⑤	32.6	④
25.7	6	23.5	6	26.5	6

※1 上位1位から5位までについては、数字を○で囲んでいます。

